取扱説明書

Enterprise 9000X (E9X)

746-591-JA_17 • 11/2022

arjo
EMPOWERING MOVEMENT

警告

怪我を避けるため、製品を使用する前に必ず本取扱説明書及び付属の文書をよくお読みください。

意匠方針と著作権

® および ™ は Arjo グループ会社に属する商標です。

© Arjo 2022.

継続的に製品の改善を行っているため、事前に通知することなく設計を変更することがあります。この出版物の内容は、全部もしくは一部に関わらず Arjo 社の同意なしに、転写することを禁じられています。

目次

警告、注意および注記 4
一般的な警告 5
1. はじめに 7
製品概要 9
2. 臨床応用 10
使用目的 10
適用 10
使用禁止 11
3. 取り付け方法 12
体重計量システム 13
電源 14
足元ライト 14
マットレス 15
4. 操作 16
ブレーキとステアリング 16
フットペダルでベッド高を調節 （オプション機能） 17
5th ホイール （オプション機能）の使用方法 18
スプリットサイドレール 19
CPR 背もたれ解除 20
X 線カセットトレー 21
操作 21
ベッド長調整 23
ベッドストリッパー （リネン棚）（オプション機能） 25
リフト用ポールおよび付属品ソケット 26
ドレナージバッグレール 27
ヘッドボードとフットボード 28
マットレスプラットフォームの調整 29
患者用コントロール類 30
介助者用コントロール類 30
患者ヘッドセット （オプション機能） 32
アテンダントコントロールパネル (ACP) 33
機能ロックアウト 35
下腿部セクションの調整 36
バックアップバッテリー 37
デューティサイクルロックアウト 38
5. 高度な機能 39
患者体重計量システム 39
VariZone™ 患者離床検出システム 44
挟み込み防止システム 46
6. 製品のお手入れとケア 47
マットレスプラットフォームセクション 47
汚染除去方法 48
予防保守 49
トラブルシューティング 52
故障通知 54
想定製品寿命 54
7. アクセサリとケーブル 55
8. 技術データ 56
9. 警告とサービス 61
10. 電磁環境適合性 62

警告、注意および注記

警告	これらの手順や製品環境を正しく順守しない場合、死亡事故、怪我あるいはその他の重大な問題を引き起こす恐れがあります。
注意	これらの手順や製品環境を正しく順守しない場合、機器の破損や不具合を引き起こす恐れがあります。
注記	手順および環境を説明します。

一般的な警告

警告

本取扱説明書は、必要に応じて参照できるように安全な場所に保管してください。

ベッドを操作する前に、本取扱説明書を良く読んで理解するようにしてください。介助者は、本製品の適正な使用、その機能と用途、および付属品等について、訓練を受ける必要があります。

本取扱説明書は、患者と介助者の安全を含めて、本製品の安全かつ効果的な使用を実現する上で必要不可欠なものです。

本製品に対して行なわれる未承認の改造や修理は製品の安全性に影響を及ぼす可能性があり、保証は無効になります。そのような修理や改造の結果生じる、いかなる事故や性能の不具合に対してもアルジョは一切責任を負いません。

感電の危険を防ぐために、本製品は保護アースを装備した電源にのみ接続してください。

本製品の近くでタバコを吸ったり、裸火を使用したりしないでください。また、本製品を異常に高温な環境に放置しないでください。

麻酔器などの可燃性ガスが存在する環境で（例えば、手術室で）電動式ベッドを使用しないでください。

ベッドは屋内使用のみを意図しており、通常の病院環境以外では使用しないでください。

ベッドとの併用が意図あるいは承認されていない付属品を使用しないでください。

使用者は、他のサプライヤーあるいはメーカーから供給されている装置と共にベッドを使用する際、リスクアセスメントを実施するようにしてください。

ベッドを固定する際は必ずブレーキを使用してください。

落下による怪我の危険性を低減するために、患者に介助者が付き添っていないときはベッドを最低の高さにしてください。

患者に介助者が付き添っていないとき、トレンデレンブルグ体位（頭部が脚部よりも低い）にして患者を放置しないでください。

患者がバランスを失って怪我をする危険性を低減するために、マットレスプラットフォームが傾斜している（低頭位または低足位）姿勢で、患者をベッドに乗せたり、ベッドから降ろしたりしないでください。

警告

患者の健康状態または他の環境的要因によって体の部分が挟まったりする危険性が高い状態にあり、傾斜しているベッドに患者を放置することに医学的メリットがないとリスクアセスメントにより判断される場合、患者に介助者が付き添っていないときはマットレスプラットフォームを水平に設置してください。

障害物が患者用コントロールを押したりする恐れのある状況で、ベッドの意図しない動きを防ぐために、アテンダントコントロールパネルの機能ロックアウトを使用することを推奨します。

ベッドを操作する際は、足、酸素ボトル、ベッドサイドの家具やその他のものがベッドの動きを制限しないことを確認してください。

潜在的な損傷やけがを避けるため、操作中は酸素ボトルやその他の障害物をベッドフレームの下に放置しないでください。

ベッドは硬い床のみ移動できます。勾配は 10 度を超えないでください。

ベッドを移動させたり操作したりする際は、ベッドに取り付けてある付属品 （例えば、リフト用ポール）がドア、天井、その他に衝突することのないようご注意ください。

ベッドを引いたり押したりするときは、ヘッドボードまたはフットボードを持ち、サイドレールや付属品は持たないでください。

ベッドを操作する前に、体が挟まったり、バランスを失ったりするのを避けるために患者が正しい位置にあることを確認してください。

機器をベースフレームの下に置いて使用する場合は、ベッドフレームやコンポーネントに接触させないようご注意ください。

ケーブルやチューブがベッドの可動部品に引き込まれたり、挟まったりしないようご注意ください。

衣服やシーツがベッドの可動部品に引っかかったりしないようご注意ください。

ベッドの可動部品を操作する際は、ベッドの動作によって損傷を受ける可能性のある近くの機器に接触させないようにしてください。

本製品は電磁環境適合性 (EMC) の要件規格に適合しています。但し、医療用電気機器は EMC に関して特別な注意を必要とし、製品サービスマニュアルの EMC 情報に従って設置および使用する必要があります。

医療用電気機器は携帯型モバイル無線機器 （例えば携帯電話）によって悪影響を受けることがあります。

医療機器もしくは福祉機器に関連して、お客様または患者様に影響する重大な事象が発生した場合、ユーザまたは患者様は、その事象を医療機器製造元あるいは販売元に必ず報告してください。欧州連合では、ユーザは、重大な事象を居住する加盟国の所轄官庁にも報告してください。

1. はじめに

本取扱説明書には、急性期、救急ベッドとして利用可能なアルジョ Enterprise® 9000X の設置、使用およびメンテナンスに関する情報が記載されています。このベッドはさまざまな機能を備えており、患者と介助者両方に最適な介護環境を提供いたします。

標準機能：

- コントロール内蔵折りたたみ式スプリットサイドレール
- 電動式ベッド高さと脚部の昇降調整機能
- 電動引き込み式背もたれ
- Bio-Contour® アドバンスプロファイリングシステム
- オートチェア機能
- 低頭位傾斜 （トレンデルンブルグ）および低足位傾斜 （リバーストレンデルンブルグ）の電動調整
- 下腿部セクション/バスキュラー位置の手動選択
- 着脱式パネル付きマットレスサポートサーフィス
- 長さ調整可能マットレスプラットフォーム
- ドレナージバッグレール
- 足元ライト
- 125mm キャスター
- 患者の体重計量と患者の離床センサー

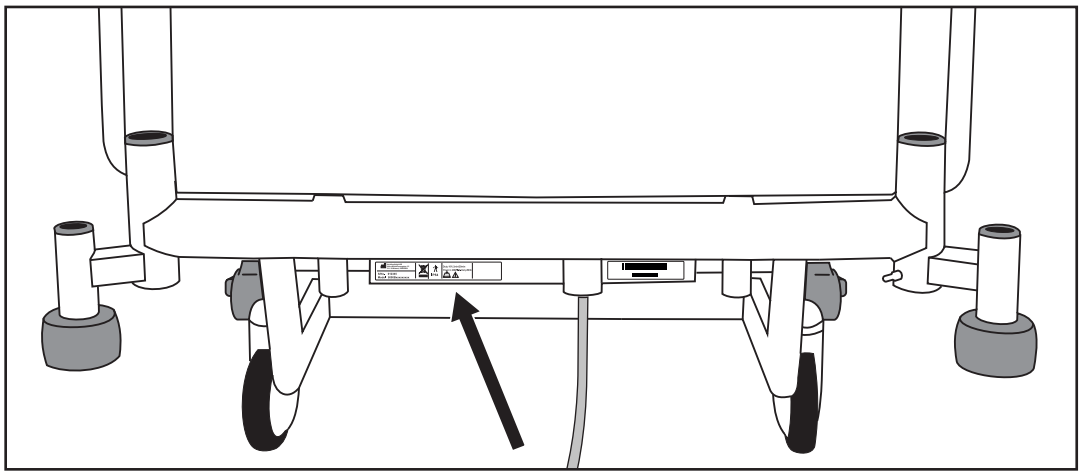
オプション機能：

- 挟み込み防止システム
- 150mm （シングルまたはダブル）キャスター
- ベッドストリッパー （リネン棚）
- 5th ホイール
- DIN レール
- ロック機能フットボードおよびヘッドボード
- X 線カセットトレー付き電磁波透過型背もたれ
- 平面デッキシート
- IndiGo™ インテュイティブ・ドライブアシスト
- ワイドブレーキバー
- フットペダルでベッド高を調節

注記 曲面デッキシートと平面デッキシートを組み合わせないでください。

オプション機能は発注時にお客様によりご指定下さい。選択したオプションは、機器モデル番号によって異なります。

モデル番号 REF とシリアル番号 SN は仕様ラベルに記載されており、ラベルはコントロールボックストレーに貼付されています。



仕様ラベル

注意

ベッドを使用する前に、仕様ラベルの 「電源」定格が地域の電源に適合することをご確認ください。

製品概要

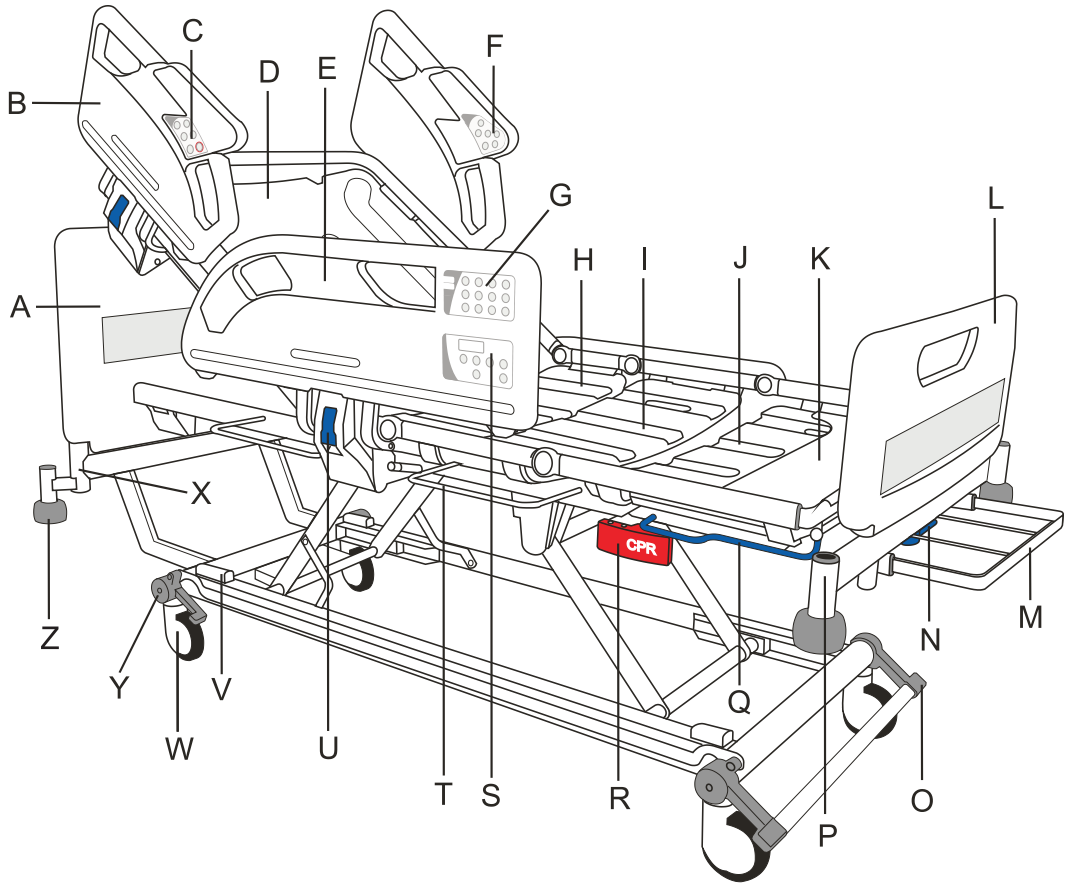


図 1 - 製品概要

A. ヘッドボード
B. 頭部先端スプリットサイドレール
C. 介助者用コントロール類
D. 背もたれセクション
E. 足部先端スプリットサイドレール
F. 患者用コントロール類
G. アテンダントコントロールパネル (ACP)
H. 臀部セクション
I. 大腿部セクション
J. 下腿部セクション
K. 下腿部拡張シート
L. フットボード
M. ベッドストリッパー （リネン棚）（オプション機能）
N. 伸長ロックハンドル
O. ブレーキペダル/バー
P. 付属品ソケット
Q. 伸長留め具バー
R. CPR リリースハンドル
S. 警告/離床検出システムコントロール
T. ドレナージバッグレール
U. スプリットサイドレールリリースレバー
V. 挟み込み防止センサー（オプション機能）
W. キャスター
X. リフト用ポールソケット
Y. 頭部側ブレーキペダル（オプション機能）
Z. 緩衝ローラー

注記 5 番目のホイール （オプション）は、写真に表示されていません （18 ページ参照）。
注記 X 線カセットトレー付き背もたれ機能がある時、平面デッキシートが標準で供給されます。

2. 臨床応用

警告

患者がベッドを安全に使用できるようにするには、臨床有資格担当者によって患者の年齢および健康状態などのリスクを評価する必要があります。

低頭位傾斜 （トレンデレンブルグ）および低足位傾斜 （リバーストレンデレンブルグ）の使用は、健康状態によっては禁忌となります。ティルト機能は、患者の状態を評価した後に、臨床有資格担当者の指導のもとでのみ使用するようにしてください。

計量システムは参考データのみの提供を意図しています。計量システムは、医薬品投与量を決定するために計量値の提供として意図していません。

使用目的

この製品は、病院やその他の介護施設に入院している患者をサポートすることを意図しています。 CPR およびトレンデレンブルグの姿勢にも対応し、計量システムを装備しています。計量システムは参考データのみの提供を意図しています。計量システムは、医薬品投与量を決定するために計量値の提供として意図していません。

ベッドは以下の状況での使用に適しています：

- 24 時間体制の医療管理および常時監視が必要な病院（例えば、ITU、ICU および CCU）で提供される集中/臨床ケア環境。
- 医療管理および監視が必要な病院やその他の医療施設 （例えば、一般医療および外科病棟）で提供される急性期ケア環境。
- 必要に応じて医療管理および監視が必要な医療施設、例えば介護施設や高齢者施設における長期ケア環境。

適用

このベッドは、移動リスクや処置リスクの問題がある、依存度の高い患者、および臨床症状により最小限の身体的対処で体位設定が必要な、依存度の高い患者、もしくはそのいずれかに適しています。

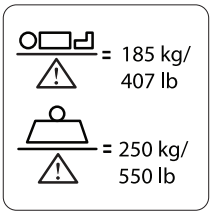
依存度が少ない患者は、介助者の裁量で、コントロール類を使用して自分自身で姿勢を調整できます。

マットレスプラットフォームは、上述のように定義されているアプリケーション環境で必要とされるような臨床的処置をアシスト、予防するための姿勢をとることができます。

使用禁止

ベッドは以下の状況での使用に適していません：

- 介護が行われている一般家庭。
- 外来治療。
- 体重 40kg 未満の患者。
- 12 歳未満の子供。



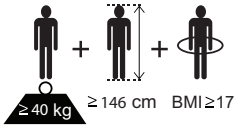
患者の最大推奨体重は 185kg です。

ベッドの安全耐荷重 (SWL) は 250kg です。
安全耐荷重は以下のとおり （IEC 60601-2-52 に従って）算出されます：

患者の最大許容体重 185kg
マットレス.....20kg
付属品 （取り付け部品の荷重を含む）.....45kg
合計 250kg

警告

マットレスと付属品を組み合わせた重量が 65kg を超える場合、患者の最大体重はそれに応じて減少させる必要があります。



推奨される患者のサイズは次のとおりです。体重は 40kg 以上、身長は 146cm から 190cm の間、 BMI は 17 以上。

介助者の裁量により、ベッドを拡張することで身長が 190cm を超える患者にも使用することが可能です。 4 章の 「ベッド長調整」を参照してください。患者の身長が 7 章に記載されている 「インベッド長」を超えないことをご確認ください。

3. 取り付け方法

以下の章には、ベッドの据え付け方法について記載されています。

警告

電源コードまたは電源プラグが破損している場合、有資格担当者によって良品と交換する必要があります。取り付けプラグを取り外したり、配線可能なプラグやアダプターを使用したりしないでください。

電源コードの引張り、よじれ、あるいは押しつぶし等がないことをご確認ください。

つまずく危険があるフロアに電源コードを這わせないでください。

電源コードがベッドの可動部品に絡まったり、ベッドフレームとヘッドボードの間に挟まったりしないようご注意ください。

ベッドを移動する前に、電源コードを電源から外して、図示のとおり保管します。

初めて使用する際、あるいは 3 ヶ月以上ベッドが使用されていない場合、本取扱説明書を良く読んで、ベッドが正常に動作することを検証するための機能テストを実施してください。機能テストのリストについては、 49 ページの 「予防保守」を参照してください。

注意

初めて使用する際、あるいは 3 ヶ月以上ベッドが使用されていない場合、バックアップバッテリーが完全に充電されるよう最低でも 24 時間、ベッドを電源に接続してください。これを怠ると、バッテリーの寿命が減少することがあります。充電した後、 51 ページに示すとおりバッテリーテストを実施して、バッテリーが完全に正常であることをチェックしてください。

体重計量システム

ベッドをフラットかつ水平にして、ブレーキをかけます （16 ページを参照）。

4 本の運搬用ロックボルト (**1**) とワッシャー (**2**) を外します。ベッドの頭部先端と足部先端にはそれぞれ 2 本ずつロックボルトが付いています。

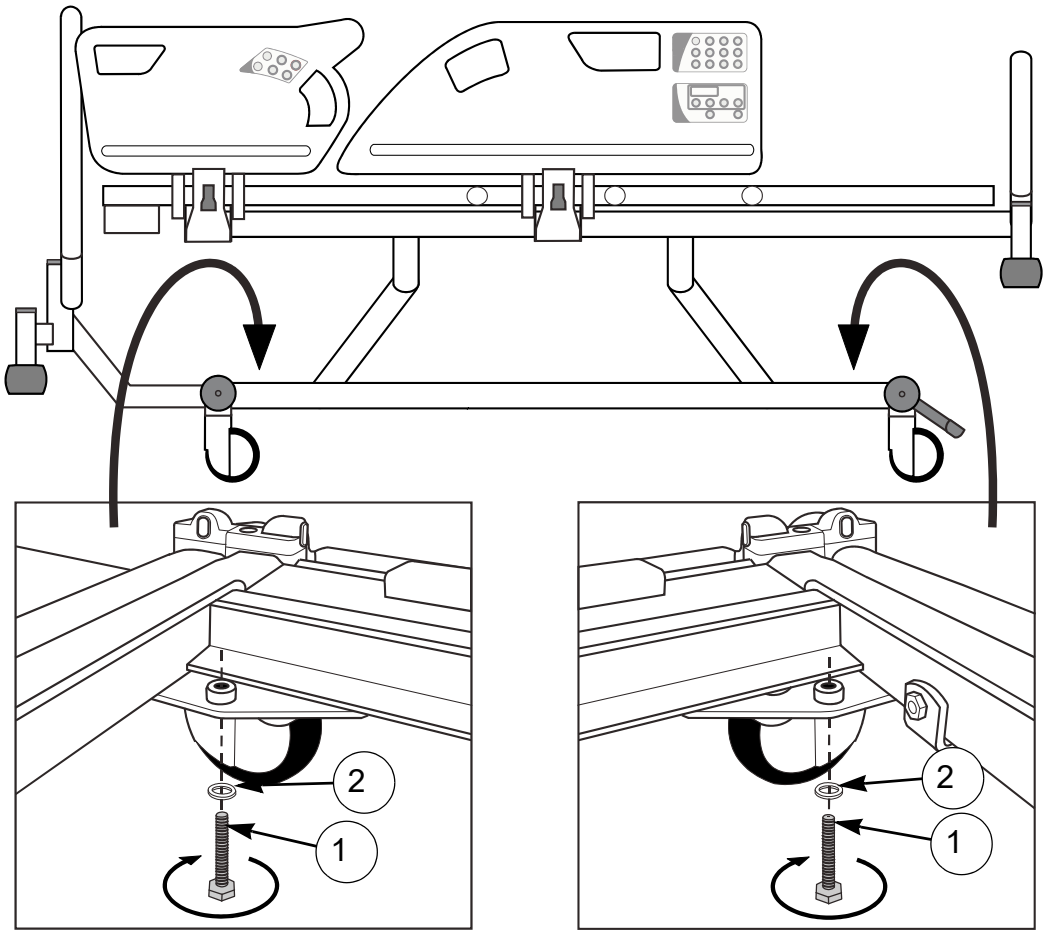


図 2 - 運搬用ボルトの取り外し

ベッドを後日運搬する必要がある場合、ボルトとワッシャーは取り付けたままにしてください。

注意

計量機構が損傷するのを防ぐために、ベッドを運搬する前にロックボルトとワッシャーを元の位置に取り付けてください。但し、これは表面が滑らかな通路で短い距離を移動する際は必要ありません。

運搬用ロックボルトを取り付ける際は、ケーブルを挟んだり、傷付けたりしないようご注意ください。

電源

電源プラグを適切な電源コンセントに差し込みます。非常時に素早く電源を遮断できるよう、電源プラグへ容易にアクセスできるようにしてください。

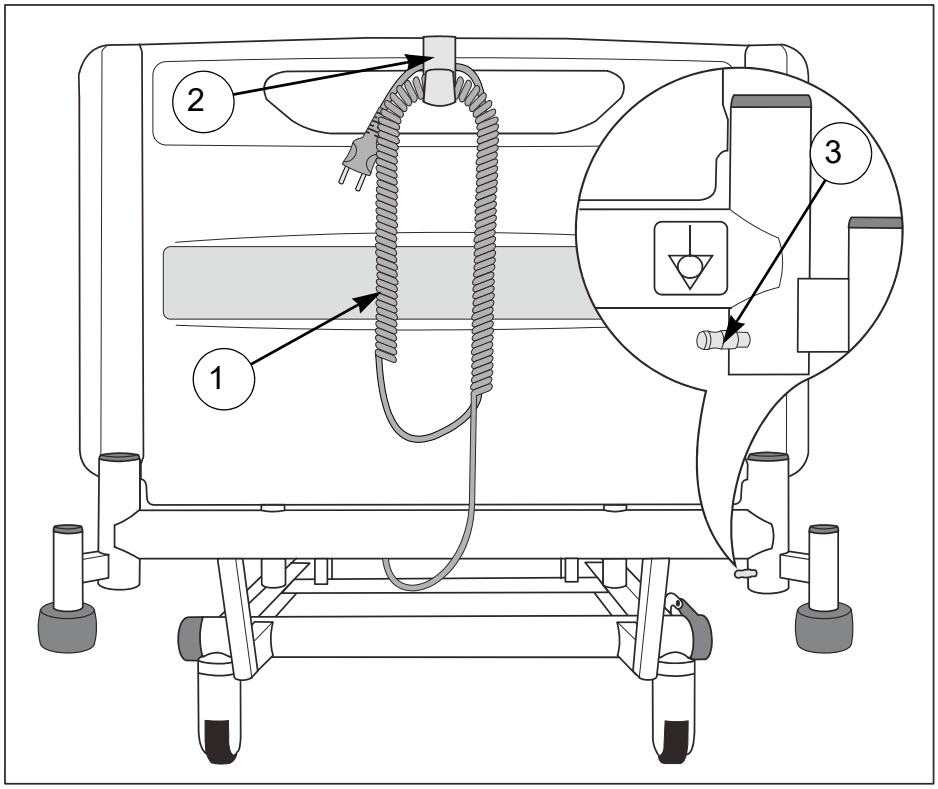


図 3 - 電源コードと等電位端子

ベッドを電源に接続すると、アテンダントコントロールパネル (ACP) のインジケータが点灯します （33 ページを参照）。

電源コード (**1**) にはプラスチックフック (**2**) が付いています。使用しないとき、あるいはベッドを移動する際は、フックをヘッドボードに取り付けてから、束ねたケーブルを下図のようにフックに掛けてください。

ベッドを電源から分離するには、電源プラグを電源コンセントから外してください。

等電位端子 (**3**) はベッドの頭部先端にあります。

他の電気機器が患者または介助者から手の届く範囲内にある場合、等電位端子を接続することで機器間の電位差を最小化できます。

足元ライト

足元ライトにより、ベッドの両側のフロアが照らされます。

ベッドが低電力状態にない限り、足元ライトは常に点灯します。 38 ページの 「低電力モード」のセクションを参照してください。

マットレス

警告

適正サイズと適正タイプのマットレスを常に使用してください。適合しないマットレスを使用すると危険招く恐れがあります。

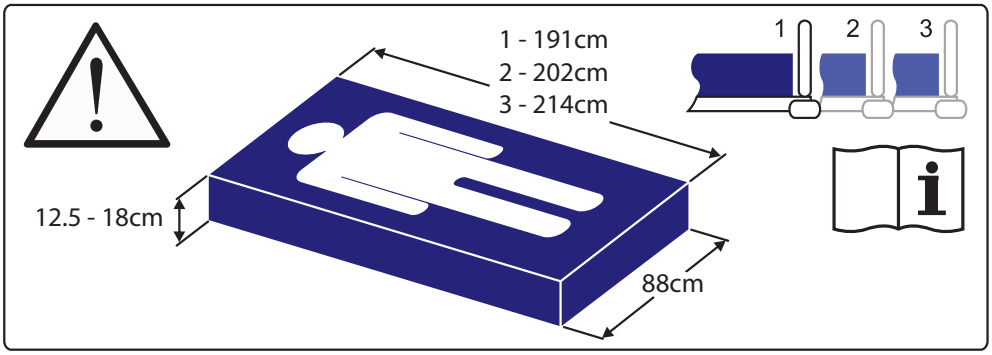
たとえ適正なサイズであっても、非常に柔らかいマットレスを使用すると挟み込みの危険が存在します。

スプリットサイドレールと共に使用するためのマットレスの推奨最大厚さは 18cm です。

マットレスに付属されている取扱説明書をお読みください。

マットレスで指定されている患者の最大体重がベッドで指定されているものと異なる場合、低い値が適用されます。

下腿部拡張シート上のラベルには適正なマットレスサイズが表示されています。



マットレスサイズラベル

注記
ラベルの番号 1、2 および 3 は、さまざまなマットレスプラットフォーム長を示しています。23 ページの 「ベッド長調整」を参照してください。

マットレスとスプリットサイドレール

ベッドとマットレスの組み合わせを選択する際、患者の個人的な臨床的評価に基づくと同時に地域の法令に準拠してスプリットサイドレールの使用を検討することが大切です。

サイドレールと共に使用するマットレスの適合性を評価するときは、以下の要因を考慮するようにしてください：

- 最大厚 18cm のフォームマットレスと使用する際に、許容可能なスプリットサイドレール高を提供できるようベッドが設計されています。
- 専門的なエアマットレスは通常、体重がかかると患者を包み込み、一般的に安全性を損なうことなくフォームマットレスよりも沈み込むことが多くなります。その他の専門的なマットレスの使用については、十分なクリアランスが維持されることを検証するために事前に評価しなければなりません。
- マットレスオーバレイに関して、本ベッドでの使用は推奨されません。
- IEC 60601-2-52に適合させるには、認定されたアルジョ マットレスを使用するようにしてください。他のマットレスを使用する場合は、ユーザーによってこの規格に準拠していることを検証してください。
- 適切なマットレスとマットレス交換に関する詳細情報については、最寄りのアルジョ事業所または正規販売店にお問い合わせください。各地域のアルジョ事業所については、本取扱説明書の巻末に記載されています。

4. 操作

次の章にはベッドの操作方法が記載されています。

警告

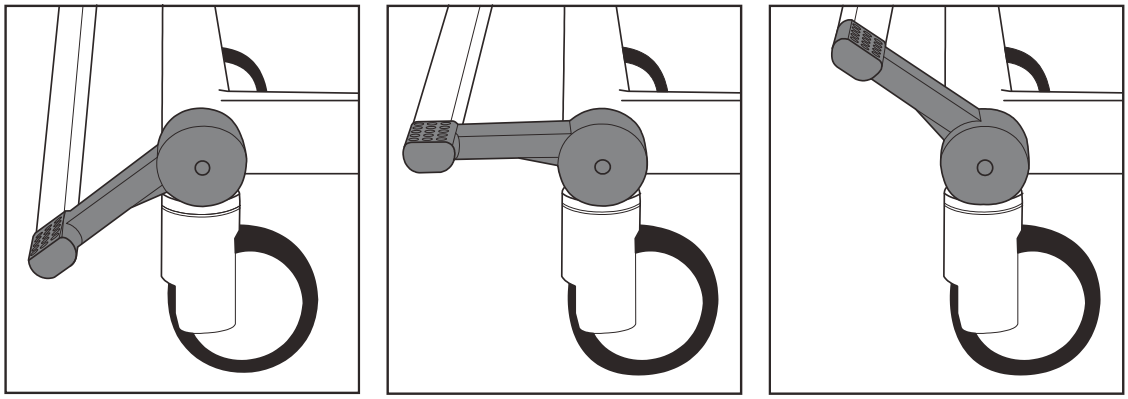
適切な靴を履いている足でブレーキペダルを操作してください。手でペダルを操作しないでください。

ブレーキとステアリング

ベッドの足部先端にあるブレーキペダルはワイドバーで一括操作ができます。これにより、特にマットレスプラットフォームの高さが低いときに、ペダルを操作するのが容易になります。

ペダルには以下のとおり 3 つのポジションがあります：

- **ブレーキ** : ブレーキは 4 つのキャスターすべてにかかります。
- **フリー** : 4 つのキャスターはすべて自由に回転および旋回できます。
- **ステア** : 4 つのキャスターはすべて回転できますが、旋回できないようにステアリングキャスター（以下を参照）がロックされています。このステア位置はベッドを真っ直ぐに移動させるのに適しています。



ブレーキ **フリー** **ステア**

ステアリングキャスターの使用

すべてのキャスターが移動方向に向くようベッドを位置調整します。ペダルを上げてステアリングキャスターをロックして、ステアリングキャスターの反対側の端から押してベッドを移動します。

注記
ステアリングキャスターは、使用者の指定に応じて、ベッドのいずれの先端にも取り付けることができます。

注記
ブレーキペダルの外観は、実際の製品では多少異なることがありますが、機能と使用方法は同一です。

頭部側ブレーキペダル

ブレーキペダル (**1**) は、ベッドの頭部先端にあります。このブレーキペダルは足部先端ペダルと同じ方式で動作します。

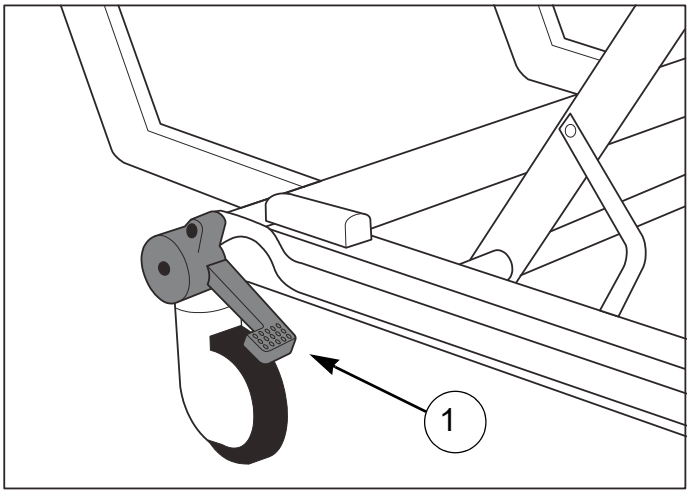
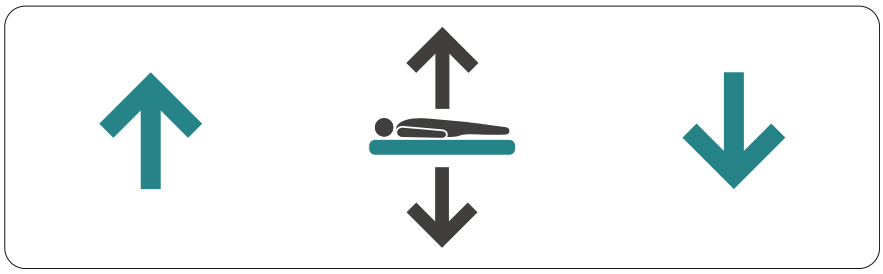


図 4 - 頭部先端ブレーキペダル

フットペダルでベッド高を調節 （オプション機能）

ベッド高は、ベッドのコントロールパネルおよびベッドの足元先端にあるフットペダルから調節することができます。



足でペダルのカバーを持ち上げ、左側を押してベッド高を上げます。ペダルの右サイドを押して、ベッド高を下げます。

5th ホイール （オプション機能）の使用方法

5th ホイールは、移動性とステアリングを向上させます。

5th ホイールの起動：

1. 5th ホイールの起動ペダル (A) の頭部先端を足で踏んで下げます。**（図 5 参照）**
   5th ホイール (B) は、床に接触するまで降下します。
2. ブレーキのロックが外れ、ブレーキペダルが「フリー」位置にあることを確認します。**（図 6 を参照）**
3. ベッドを移動する準備ができました。

5th ホイールの停止：

1. 5th ホイールの起動ペダル (A) の脚部先端を足で踏んで下げます。**（図 5 参照）**
2. 5th ホイール (B) が床から上昇していることを確認します。

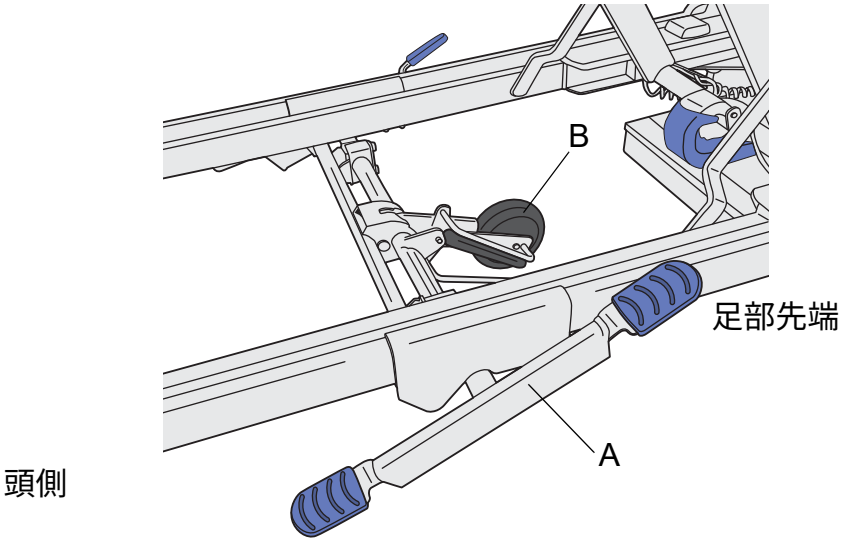


図 5 - 5th ホイール起動ペダル

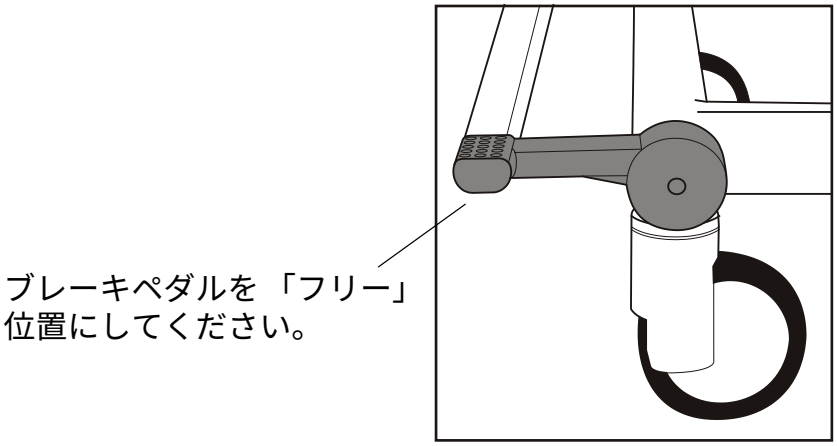


図 6 - フリー位置

スプリットサイドレール

警告

臨床有資格担当者は、スプリットサイドレールを使用する前に、患者の年齢、身長および健康状態を考慮する必要があります。

スプリットサイドレールは、ベッドから出ようとする患者を阻止する目的で設置されている訳ではありません。

マットレスがスプリットサイドレールとの併用に適していることを確認してください（15 ページの 「マットレスとスプリットサイドレール」を参照）。

挟み込みの危険を回避するために、マットレスプラットフォームを調整する際は患者の頭や手足をスプリットサイドレールに近づけないでください。

スプリットサイドレールの接触部分はこのシンボルで識別されます。手や指をこのエリアから遠ざけてください。

スプリットサイドレールを下げるには：

スプリットサイドレールハンドル (**1**) の両側を持ちます。青いリリースレバー (**2**) を引き、スプリットサイドレール (**3**) を持ちながら、完全に下へ降ろしてください。スプリットサイドレールはマットレスプラットフォームの下に折りたたむことができます。

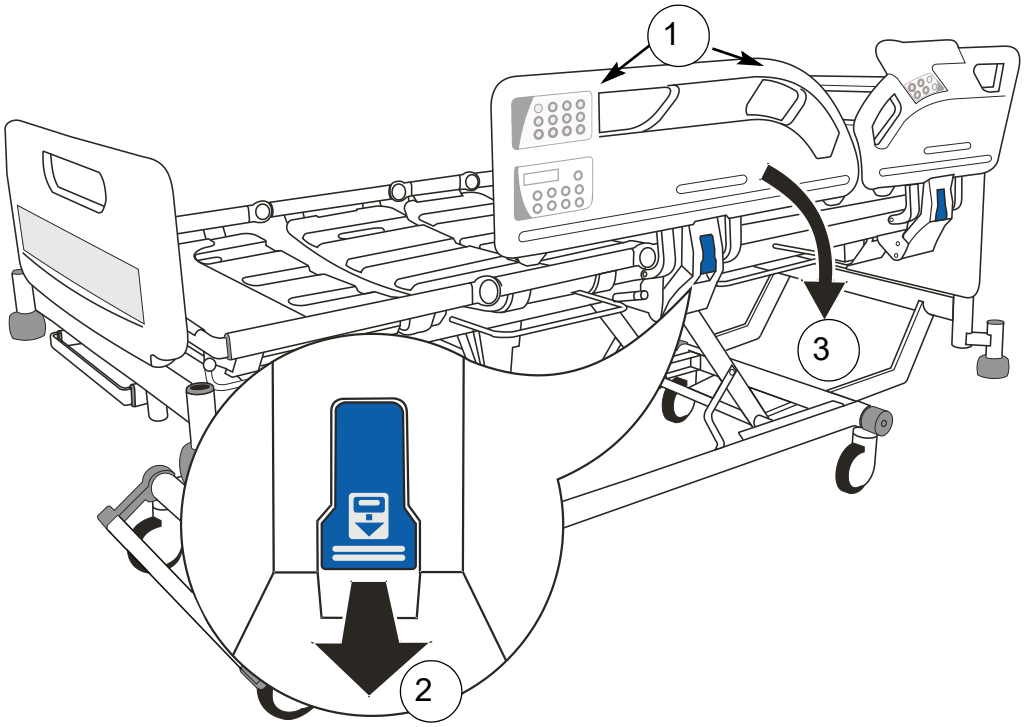


図 7 - スプリットサイドレールの操作

注記
頭部先端と足部先端のサイドレールは両方とも同じ方法で作動します。

スプリットサイドレールを持ち上げるには：

スプリットサイドレールハンドル (**1**) の両側を持ちます。上昇位置でロックするまでベッドからスプリットサイドレールを引き上げます。

警告

スプリットサイドレールが引き上げられたときにロック機構が安全に機能していることを確認してください。

CPR 背もたれ解除

手動 CPR リリースハンドルは、ベッドの両側の下腿セクションの下に付いています。

患者が心拍停止の状態にある場合、CPR リリースハンドル (**1**) を引いてください。これにより、背もたれ (**2**) が下がって、心肺機能蘇生が実施できるようになります。

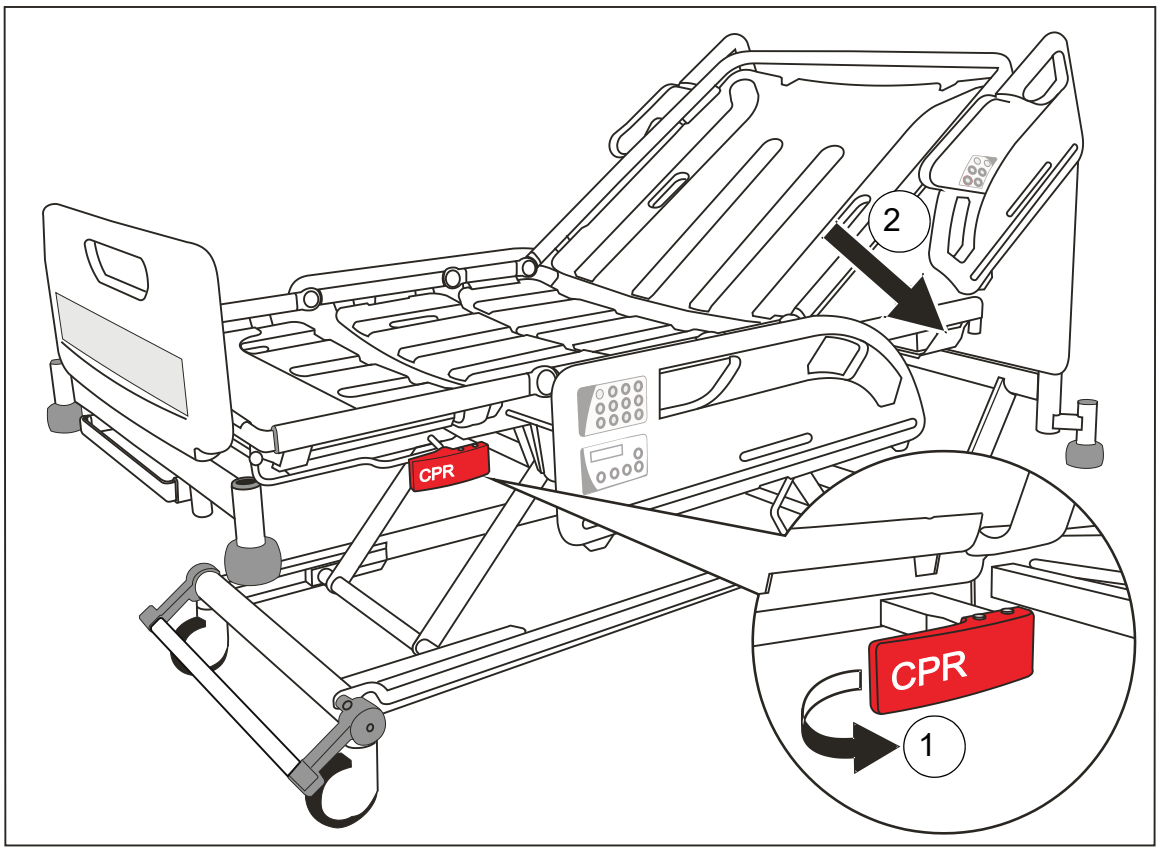


図 8 - CPR 背もたれ解除

警告

背もたれは素早く降下することがありますので、手が挟まれないようご注意ください。

注意

手動 CPR は非常時にのみ使用してください。毎日繰り返し使用すると、早期摩耗を引き起こすことがあります。

X 線カセットトレー

X 線カセットトレーは、患者をベッドから移動せずにあらゆる角度から背もたれによる胸部 X 線写真撮影が可能です。

警告

X 線カセットの装填と取り外しが容易になるように、マットレスプラットフォームを人間工学的な高さに位置調整してください。

背もたれを上昇または降下する前に、X 線カセットトレーを背もたれセクションの下の位置に戻してください。

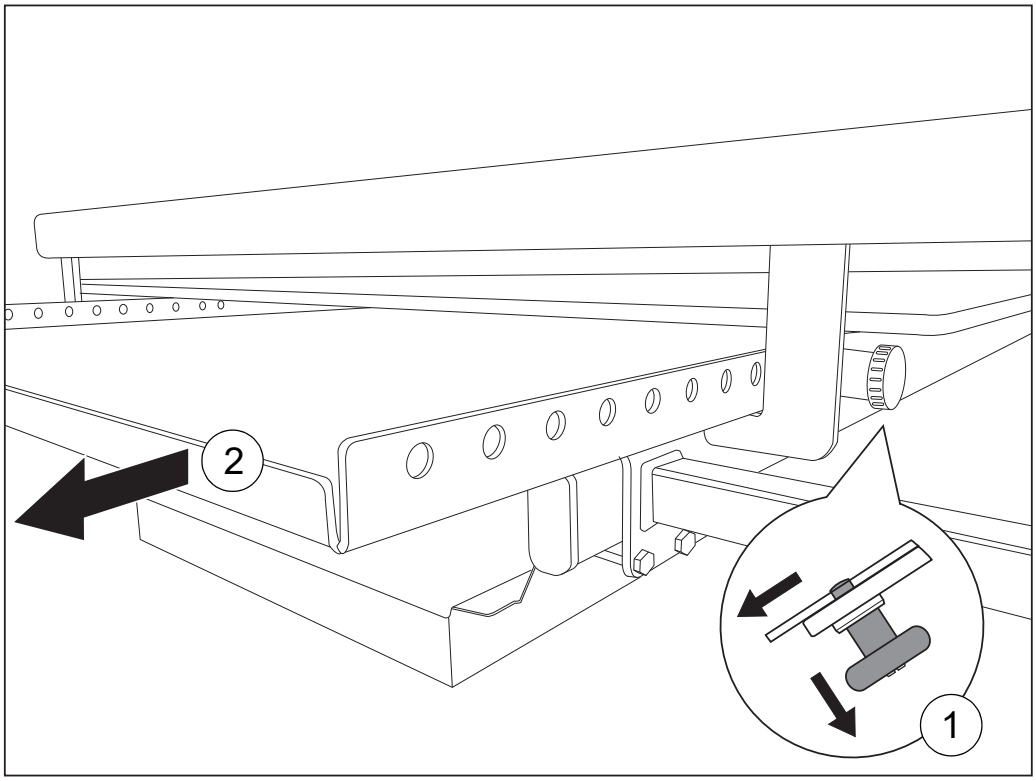
X 線カセットトレーの上に座ったり、重い物を置いたりしないでください。

X 線カセットトレーが留め具により常に所定の位置に固定されていることを確認してください。

操作

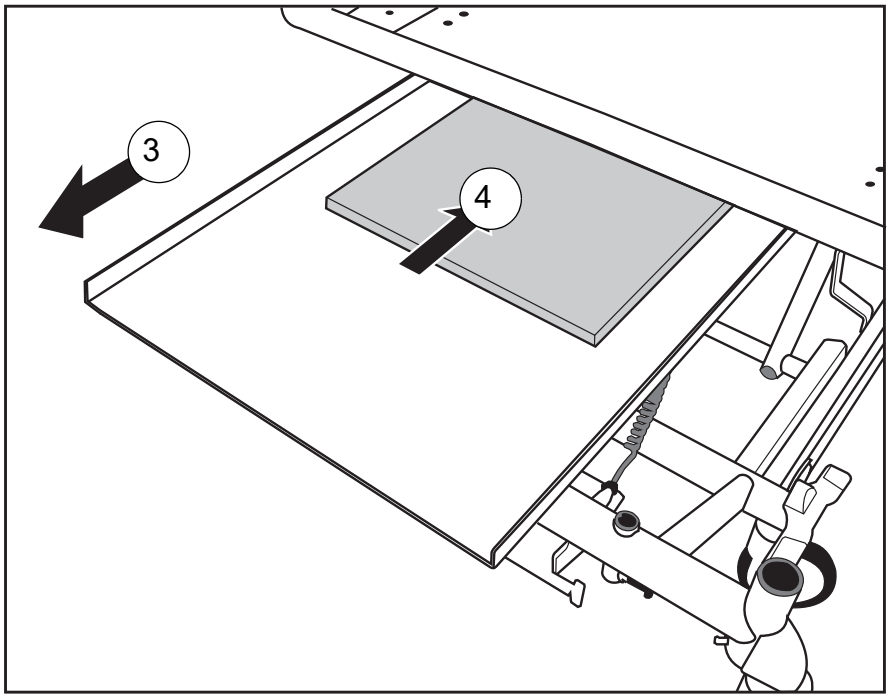
ブレーキをかけます。ベッドからヘッドボードを取り外します。

ノブ (1) を引いて留め具を外し、トレー (2) をスライドさせてできる限り引き出します。



X 線カセットトレーの操作

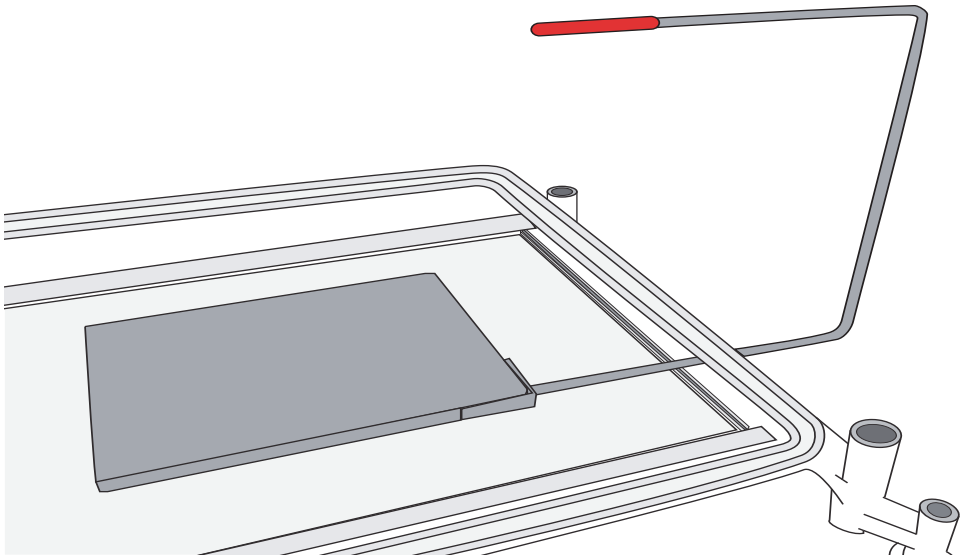
ノブを開放して、完全なオープン位置 (3) にトレーを保持します。カセットの下部分の端をトレーの足部先端に寄せて、 X 線カセット (4) をトレーに配置します。



X 線カセットの位置調整

ノブを引いて、トレーを背もたれの下へスライドさせます。

X 線設置ツールの上部にある赤いモールドは、X 線カセットの右上隅を示します。これを使って、カセットを正確な位置に設置することができます。



X 線設置ツール

ノブを解除して、トレーをラッチ位置に保持します。

使用後は、完全なオープン位置までトレーを引き出して、X 線カセットトレーを取り出します。トレーをバックレストの下の閉位置に戻し、ヘッドボードを元に戻します。

ベッド長調整

ベッドの長さは 3 つの設定位置に調整できます。この設定位置は通常、以下のように使用します：

1 ショート:限られたスペースでベッドを操作する場合に使用。

2 スタンダード長：標準環境で使用。

3 エクステンデッド：身長が非常に高い患者に使用。

警告

ベッドを伸長したとき、適切な伸長用フォームマットレス（背当て）を頭部先端に設置してください。

ベッドフレームとマットレスプラットフォームは常に同じ長さに調整し、両方とも所定の位置にしっかりと固定させてください。

ベッド長を調整する前に、マットレスプラットフォームの水平にしてください。

ベッドフレームを伸長するには：

青い伸長ロックハンドル (**1**) を引きます。ベッドフレーム **(2)** を希望する位置まで引き出して、ハンドルを解放します。

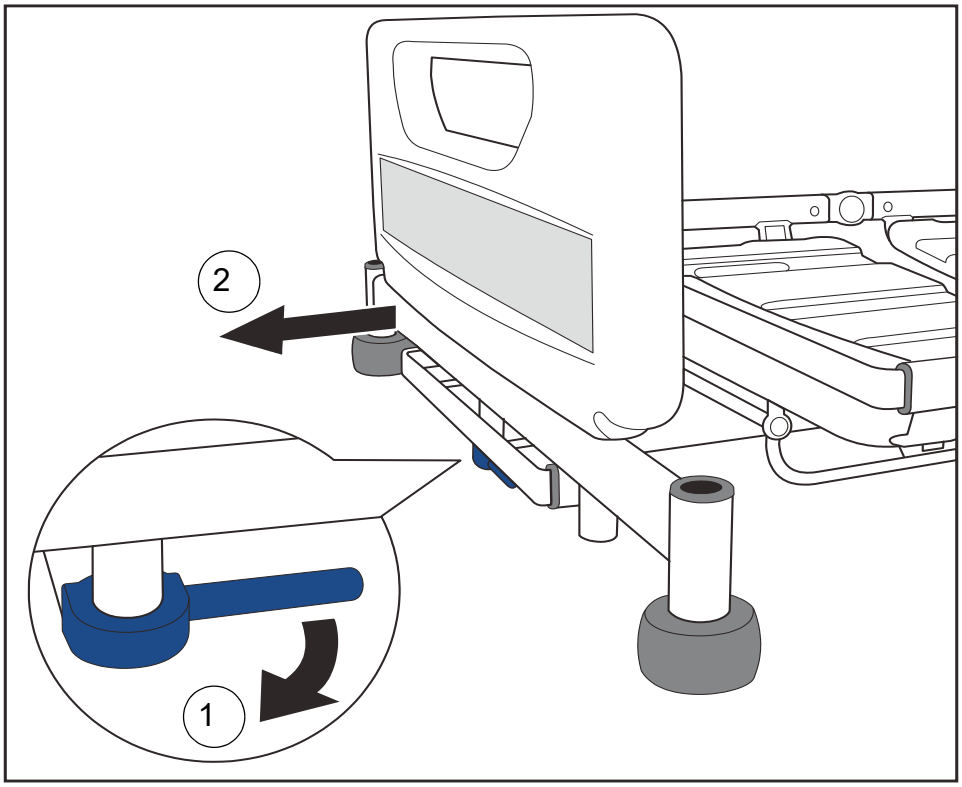
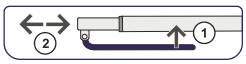


図 9 - ベッドフレームの伸長

マットレスプラットフォームを伸長するには：



青い伸長留め具バー (**1**) を持ち上げて、クロスバー (**2**) の中央を持ち、希望する位置までマットレスプラットフォームを引き出します。留め具バーを固定します。

警告

留め具バーを持ち上げる際、指を挟まないようご注意ください。

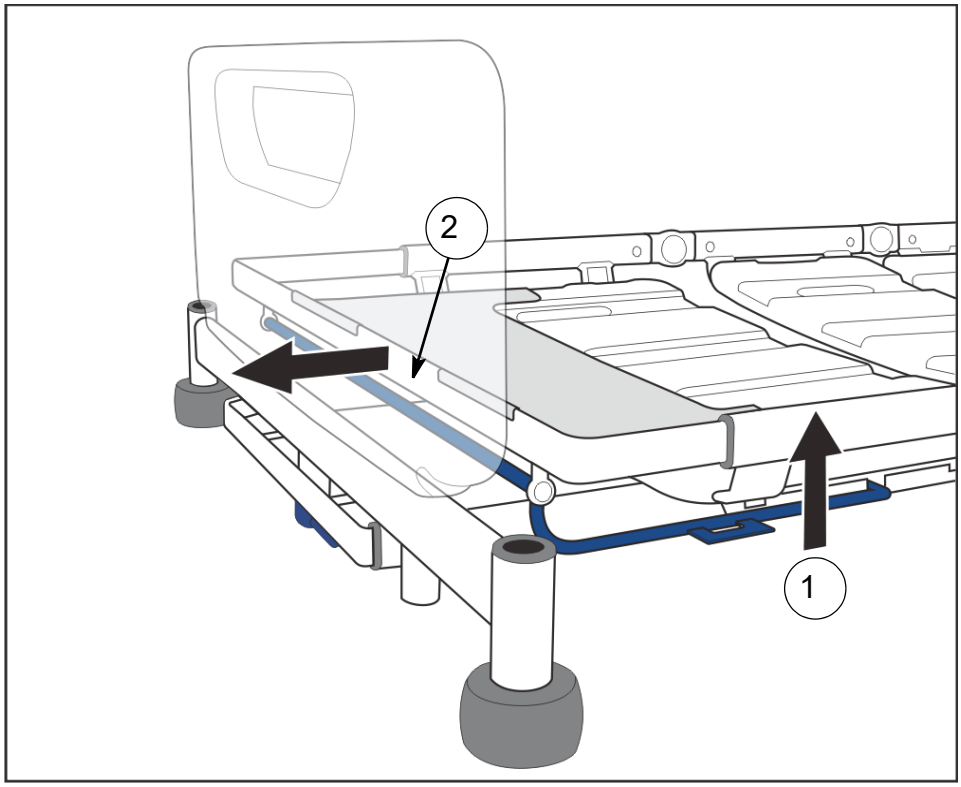


図 10 - マットレスプラットフォームの伸長

警告

マットレスプラットフォームを伸長した後に、下腿部拡張シートがマットレスプラットフォームフレームの先端に留めてあることを確認してください。

ベッドを短くするには：

上述の手順を逆から行います。

ベッドストリッパー （リネン棚）（オプション機能）

ベッドストリッパーは、ベッドシーツを交換しているときに、清潔なリネンを一時的に置く際に使用します。

フットボードの下の位置からベッドストリッパーを引き出します。

使用後は、ベッドストリッパーを元の位置に押し戻します。

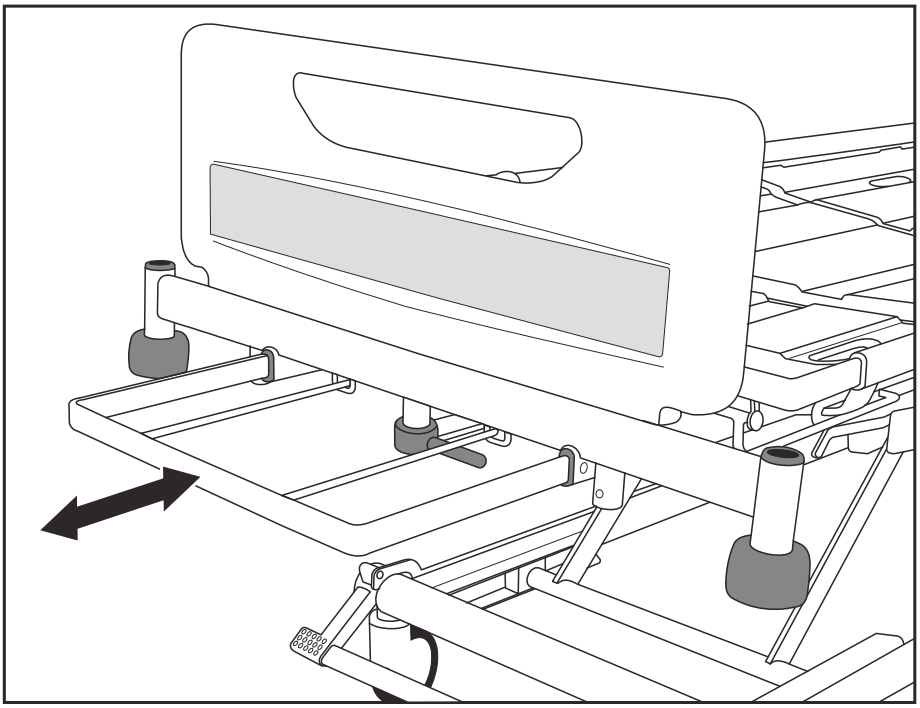


図 11 - ベッドストリッパー （リネン棚）

注意

ベッドストリッパーの安全耐荷重は 20kg です。

ベッドストリッパーを使用する前に、マットレスプラットフォームの水平にします。

リフト用ポールおよび付属品ソケット

リフト用ポール (**1**) は、マットレスプラットフォームの頭部先端にあります。

適合付属品をサポートするためのソケットはベッドの頭部先端 (**2**) と足部先端 (**3**) にあります。

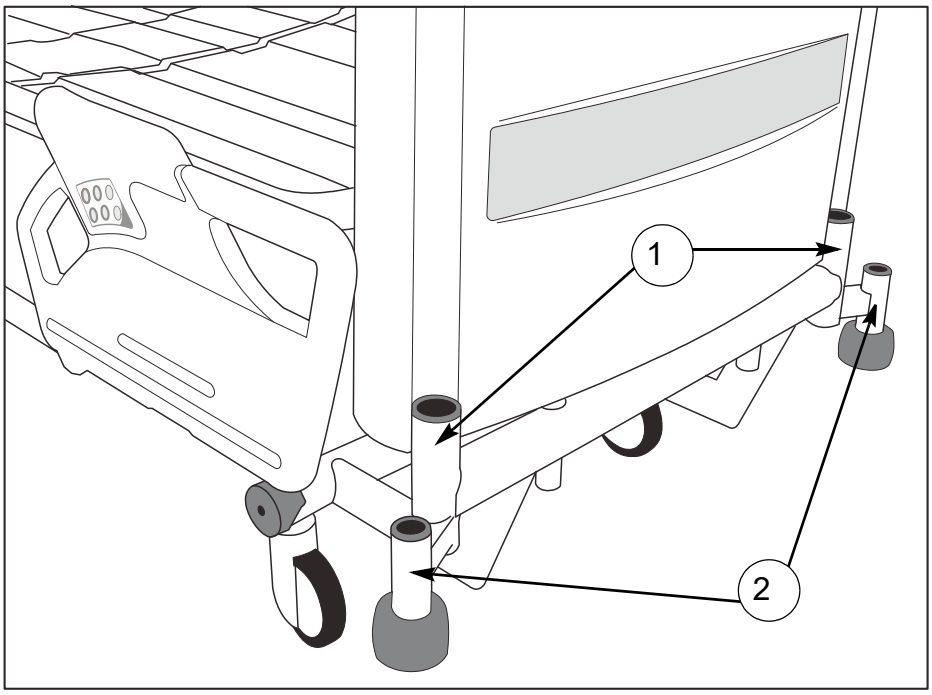


図 12 - リフト用ポールおよび付属品ソケット （頭部先端）

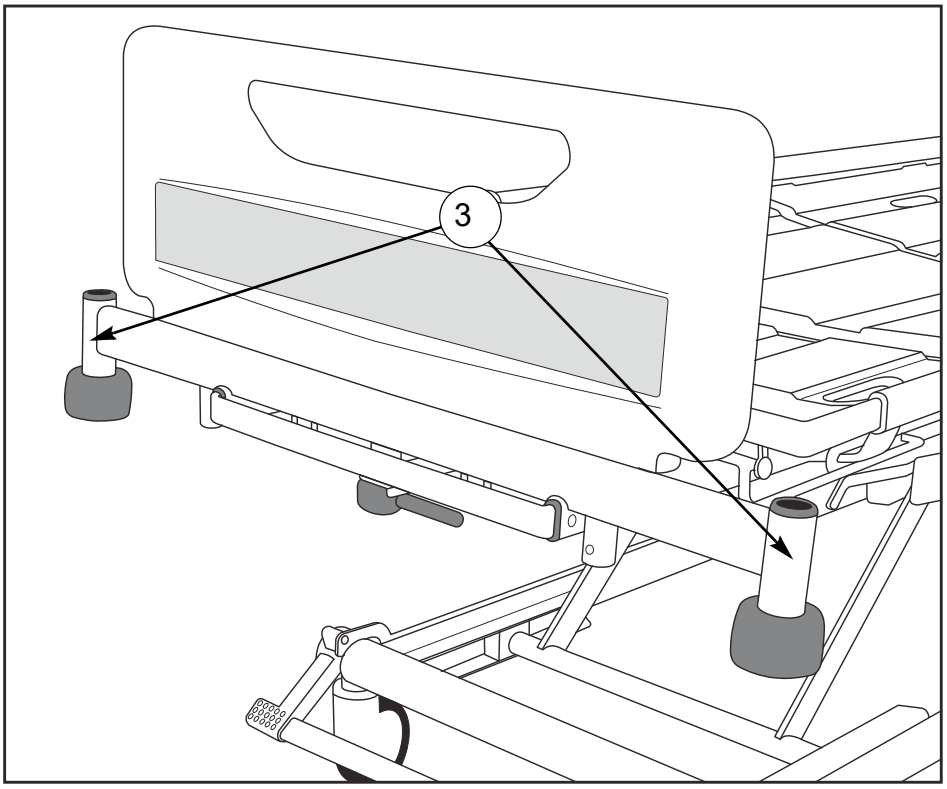


図 13 - 付属品ソケット （足部先端）

ドレナージバッグレール

ドレナージバッグ、その他をサポートするためのレール (**1**) は、ベッドの両側の大腿部および背もたれセクションの下にあります。

（オプション機能）ベッドには、DIN 付属品レール (**2**) を取り付けることも可能です。

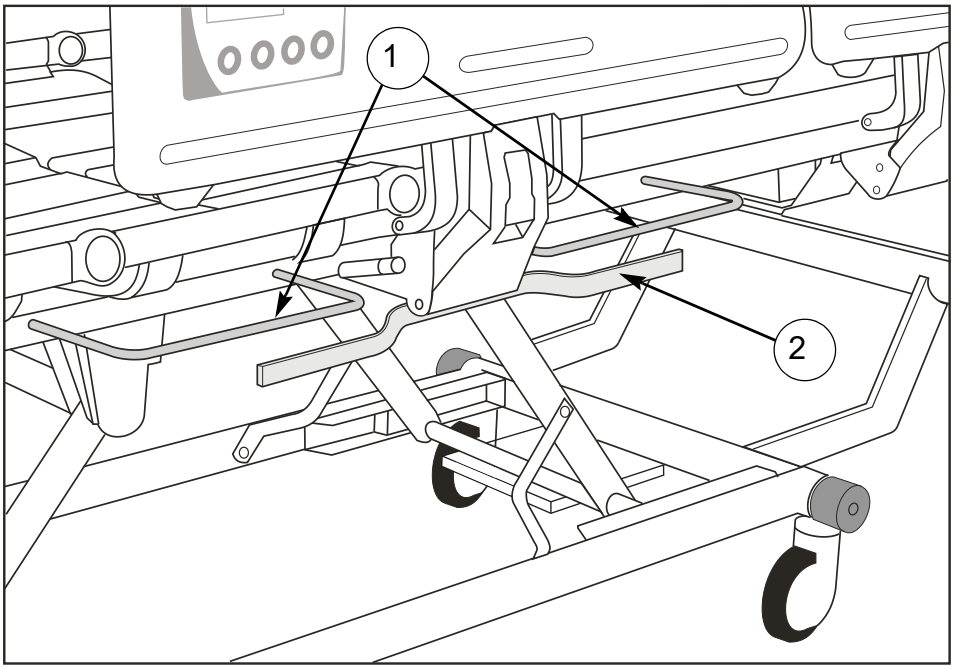


図 14 - ドレナージバッグレールと DIN レール

注意

ドレナージバッグと DIN レールによって安全にサポートできる最大重量は 5kg です。

注意

ドレナージバッグレールに置かれたアイテム（患者の排液や尿バッグなど）は体重計算に含まれ、患者の体重の測定に影響を及ぼします。 39 ページの 「高度な機能」を参照してください。

ヘッドボードとフットボード

ヘッドボードとフットボードは、患者にアクセスする際に容易に取り外すことができます。

（オプション機能）ヘッドボードとフットボードは、不意に外れないよう、２つのロック用留め具 (**1**) で固定できます。**ヘッドボードとフットボードをアンロックするには：**留め具 (**2**) を引き出して、1/4 回転 (**3**) させます。これでフットボードはベッドから取り外すことができます。

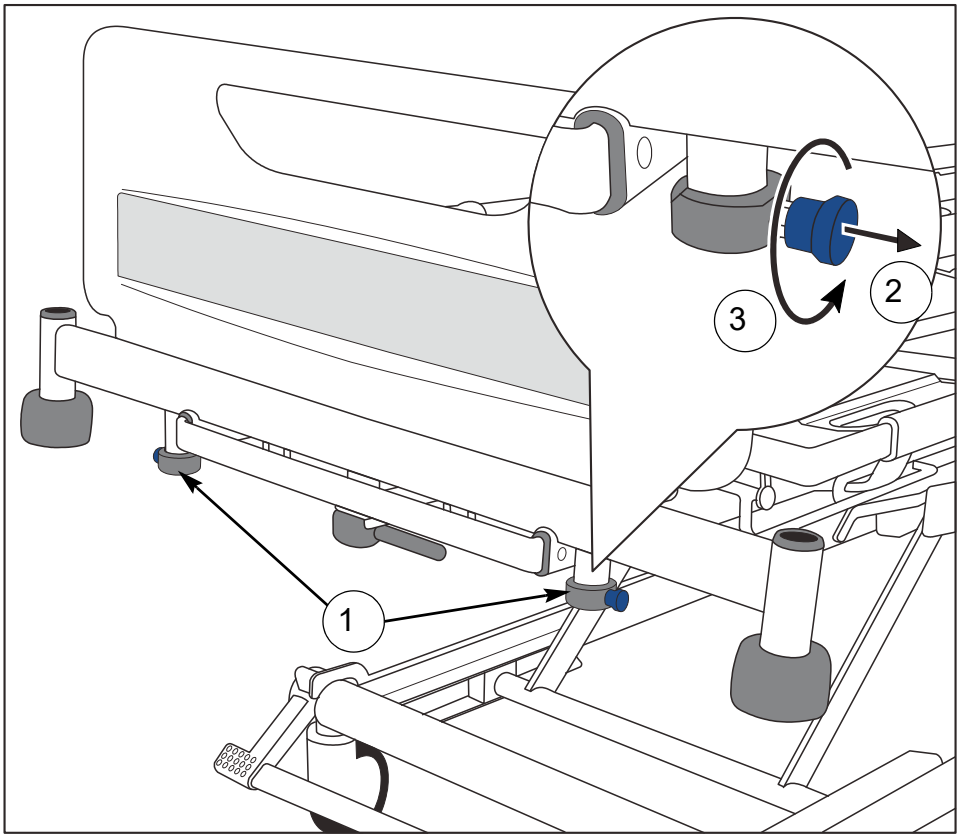


図 15 - フットボードのロック （この例では足部先端）

フットボードをベッドに戻した後に、ロック位置のスプリングに戻るまで留め具を回転します。

マットレスプラットフォームの調整

警告

コントロール類は一回押すだけで作動します。マットレスプラットフォームの意図しない動きを防止するために、スプリットサイドレールに寄りかからずに、ベッド上およびベッド周りの機器をコントロール類から遠ざけてください。

潜在的な損傷やけがを避けるため、操作中は酸素ボトルやその他の障害物をベッドフレームの下に放置しないでください。

患者と介助者が使用するコントロール類は、頭部先端のスプリットサイドレールに組み込まれています。このコントロール類によってベッドの基本機能を操作できます。スプリットサイドレールコントロールを使用するのが困難な患者は、分離されているハンドセット（オプション）がご利用になれます。

介助者のみが使用できるアテンデントコントロールパネル (ACP) は、足部先端のスプリットサイドレールに組み込まれています。これにより、ベッドの機能をすべて制御できます。

患者と介助者用コントロール類、ならびに ACP の機能は、次の数ページに記載されています。

マットレスプラットフォームを調節するには：必要とされる位置に達するまで適切なボタンを長押しします。ボタンから手を放すか、移動限界に達するまで、移動は継続します。

注意

破損したり、マットレスプラットフォームの動きを妨害したりするため、電気ボックス (1) の上に何も置かないでください。

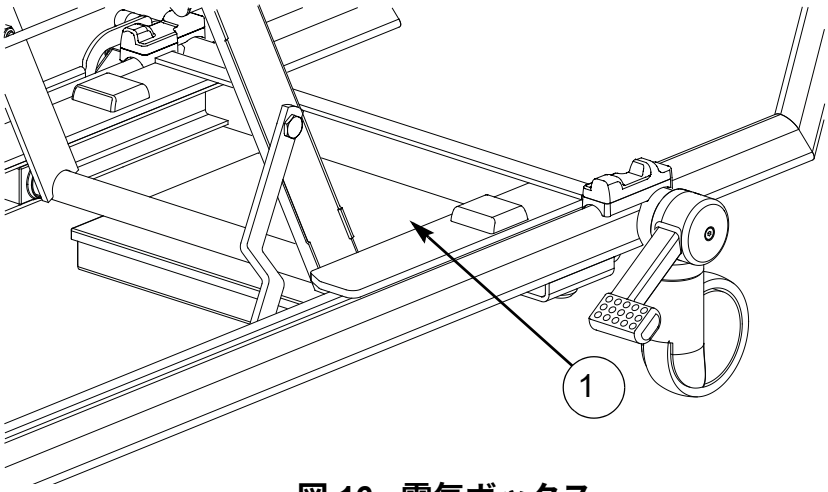


図 16 - 電気ボックス

注記
ボタンを押して警告 （ビープ）音が鳴る場合、ベッドはバックアップバッテリーで動作しています。 37 ページの 「バックアップバッテリー」のセクションを参照してください。

注記
ボタンを 90 秒間押し続けると、ボタンを放すまで機能は自動的に無効になります。次に、35 ページの 「機能ロックアウト」のセクションに記載されているとおり、機能はロック解除する必要があります。

患者用コントロール類

患者用コントロール類は、両方の頭部先端スプリットサイドレールの内側パネルにあります。

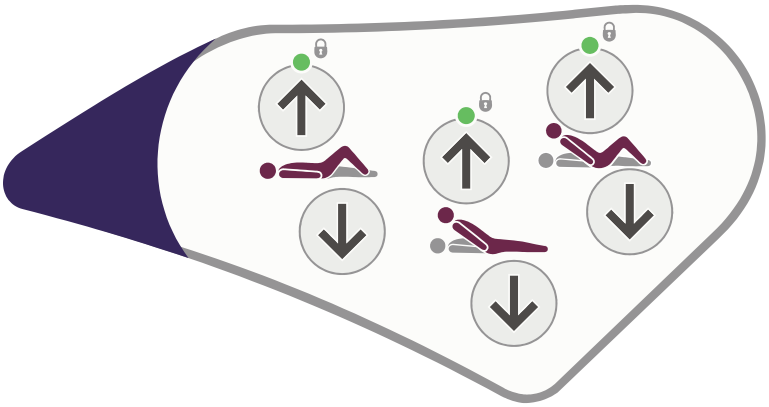


図 17 - 患者用コントロール類 （患者の左側）

> **警告**
>
> **介助者はハンドセットの使用方法を患者に教えるようにしてください。**

介助者用コントロール類

介助者用コントロール類は、両方の頭部先端スプリットサイドレールの外側パネルにあります。

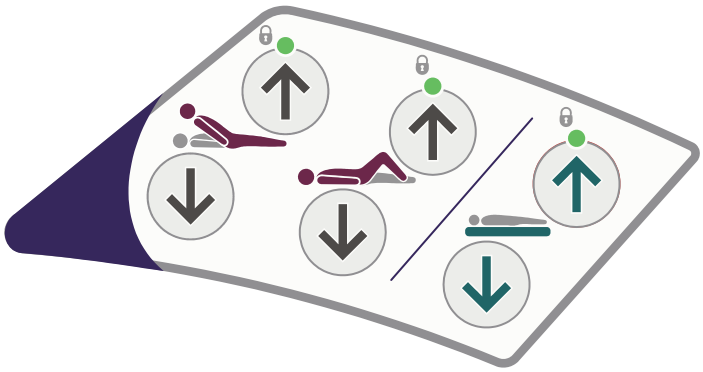


図 18 - 介助者用コントロール類 （患者の右側）

大腿部セクション

これらのボタンにより、大腿部を起こしたり、倒したりできます。

大腿部セクションをフラット位置から最初に起こすと、下腿セクションはファウラー位置になります （下向き）。

下腿部セクションをバスキュラー （水平）位に変えるには、 36 ページの「下腿部セクションの調整」のセクションを参照してください。

背もたれ角度

これらのボタンにより、背もたれを起こしたり、倒したりできます。

Bio-Contour

*Bio-Contour上昇*ボタンを押すと、背もたれと大腿部セクションが同時に上昇して、患者を垂直座位姿勢にすることができます。大腿部セクションを起こすことで、ベッドから滑り落ちるのを防止できます。

*Bio-Contour降下*ボタンにより、マットレスプラットフォームを平らな位置に戻すことができます。

マットレスプラットフォーム高

これらのボタンはマットレスプラットフォームの上昇と降下に使用します。すべてのセクションは、ベッドが特に低い高さ (32cm*) に達するまで半分の速度で下がり、低い高さ(40cm*)に達するまでは最大速度で下がります。（* 低い高さと特に低い高の寸法は参考用のみです。）

警告

最低の高さでは、ベッド下のクリアランスは減少します。スプリットサイドレールの下のエリアから足を遠ざけてください。また、患者用ホイスト、リフトまたはその類似機器を使用する際は特に注意してください。

潜在的な損傷やけがを避けるため、操作中は酸素ボトルやその他の障害物をベッドフレームの下に放置しないでください。

注記
ベッドプラットフォームが傾いている場合は、マットレスプラットフォームは、特に低い高さまで下がりません （トレンデレンブルグまたはトレンデレンブルグと逆の位置）。

患者ヘッドセット（オプション機能）

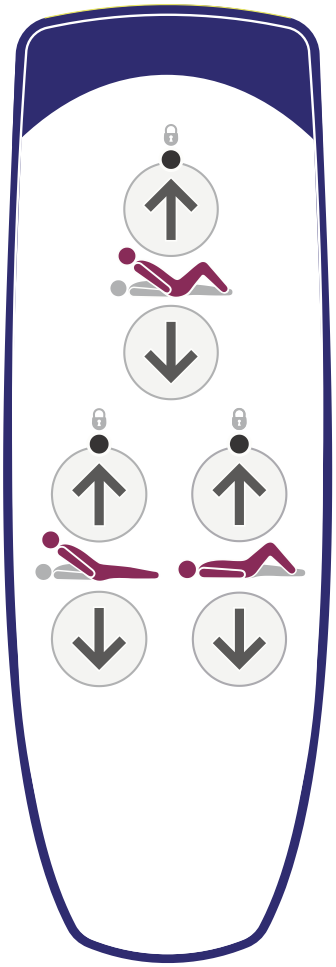
このハンドセットのコントロール類は、サイドレールのものと同じ方式で動作します（30 ページを参照）。

警告

ハンドセットは、背面のクリップを利用してサイドレールに取り付けておくことが可能で、コントロール類を誤って操作することを防止できます。

介助者は誤った使用を防ぐためハンドセットの使用方法を患者に教えるようにしてください。

ハンドセットのケーブルがベッドの可動部品に引き込まれたり、挟まったりしないようご注意ください。



患者用ハンドセット

アテンダントコントロールパネル (ACP)

アテンダントコントロールパネルは、足部先端スプリットサイドレールの外側パネルにあります。ベッドの左側の ACP と右側の ACP では、ボタン配置が異なります。

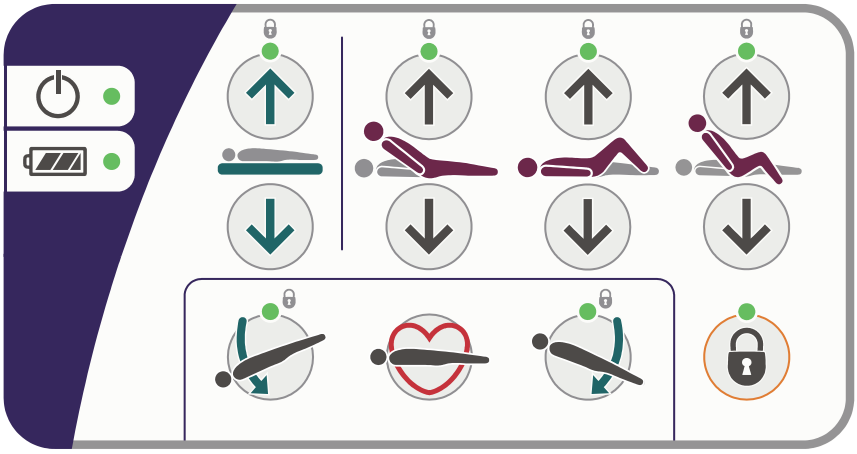


図 19 - アテンダントコントロールパネル （患者の右側）

電源インジケータ - ベッドが電源に接続されているときに点灯します。

バッテリーインジケータ - 37 ページの「バックアップバッテリー」のセクションを参照してください。

マットレスプラットフォーム高

これらのボタンはマットレスプラットフォームの上昇と降下に使用します。すべてのセクションは、ベッドが特に低い高さ (32cm*) に達するまで半分の速度で下がり、低い高さ(40cm*)に達するまでは最大速度で下がります。（* 低い高さと特に低い高の寸法は参考用のみです。）

警告

ベッドを降下させる前に、マットレスフレームとシャーシ間のスペースに人の手足、寝具類、その他の物がないことを確認してください。

最低の高さでは、ベッド下のクリアランスは減少します。スプリットサイドレールの下のエリアから足を遠ざけてください。また、患者用ホイスト、リフトまたはその類似機器を使用する際は特に注意してください。

潜在的な損傷やけがを避けるため、操作中は酸素ボトルやその他の障害物をベッドフレームの下に放置しないでください。

注記
ベッドプラットフォームが傾いている場合は、マットレスプラットフォームは、特に低い高さまで下がりません （トレンデレンブルグまたはトレンデレンブルグと逆の位置）。

警告

ヘッドボードを取り外すと、背もたれセクションを下げているときに背もたれ部分とフレーム間に挟み込みの危険性が高くなります。フレームと背もたれ部分の間のスペースに、人、手足、寝具類、その他の物がないことを確認してください。

背もたれ

これらのボタンにより、背もたれを起こしたり、倒したりできます。

約 30º の角度に達すると、背もたれは一時停止します。

大腿部セクション

これらのボタンにより、大腿部を起こしたり、倒したりできます。

大腿部セクションをフラット位置から最初に起こすと、下腿セクションはファウラー位置になります （下向き）。

下腿部セクションをバスキュラー （水平）位に変えるには、 36 ページの「下腿部セクションの調整」のセクションを参照してください。

オートチェア

*オートチェアアップ*ボタンを押すと、背もたれと大腿部セクションが同時に上昇して、背もたれが 45° になると一時停止します。ボタンを押し続けると、マットレスプラットフォームの足部先端が降下してチェア位置になります。

背もたれ角度が 45° を超えると、患者が前方に倒れるのを防ぐために 45° に戻ります。

*オートチェアダウン*ボタンを押すと、ベッドフレームは水平位置に戻ります。

傾斜角

このボタン押すと、マットレスプラットフォームの頭部先端が降下します（トレンデレンブルグ体位）。

このボタンを押すと、マットレスプラットフォームの足部先端が降下します （リバーストレンデレンブルグ体位）。

注記
傾斜位置から戻ると、マットレスプラットフォームは水平 （傾斜なし）位置で一時停止します。

***CPR* 姿勢**

患者が心拍停止の状態にある場合、CPR ボタンを長押ししてください。マットレスプラットフォームは平らになって、心肺機能蘇生が実施できるようになります。

CPR ボタンは機能ロックアウト設定に優先します。

機能ロックアウト

機能ロックアウトは、例えばマットレスプラットフォームの予期しない動きによる患者の怪我など、コントロール類の誤操作による事故を防止するために使用できます。

機能をロック （防止）またはロック解除 （許可）するには：

機能ロックボタンを押します。ボタンの上のインジケータが点灯します。

ロックまたはロック解除する機能に対応するACPボタンを押します。各機能ボタンの上にある 「ロック」インジケータ LED が現在のステータスを表示します：

LED オン = 機能ロック済み
LED オフ = 機能ロック解除

必要に応じて全機能をロックまたはロック解除するとき、機能ロックボタンを再度押すか、 5 秒お待ちください。機能ロックボタンの上のインジケータが消灯して、ロックアウト設定が保存されます。

注記
機能がロックされると、関連機能は自動的に無効になります。例えば、背もたれ機能のロックは Bio-Contour とオートチェア機能も無効になります。

注記
ベッドへの電源供給が停止されても、機能ロックアウト設定は保持されます。

下腿部セクションの調整

大腿部セクションが起こされているとき、下腿部セクションはバスキュラー （水平）位置に手動で変えることが可能です。

下腿部セクションフレームの側面を持ちます。ラッチする (**2**) まで下腿部セクションを持ち上げます (**1**)。

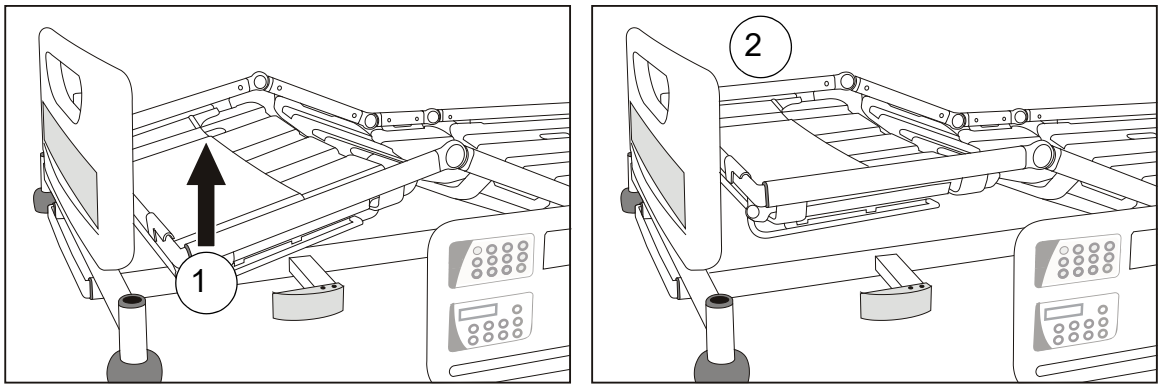


図 20 - ファウラー位置 （左）からバスキュラー位置への変更

下腿部セクションをファウラー位置に戻すには：

介助者用コントロールまたは ACP を使用して、大腿部セクションを水平位置まで降下させた後、大腿部セクションを再び上昇させます。

警告

下腿部セクションを持ち上げる際はご注意ください。地域の手動操作に関するガイドラインを遵守してください。

バックアップバッテリー

注意

バッテリーをフルに充電してバッテリーに対するダメージを防ぐには、通常使用の間、ベッドは常に電源に接続しておく必要があります。

バッテリーは短時間使用のみを意図しています。長時間の使用はバッテリーの寿命を縮めることになります。

バックアップバッテリーにより、ベッドを電源に接続しないで短時間使用したり、電源が利用できない非常時に使用したりすることが可能になります。

バッテリーの充電レベルは以下のように示されます：

ベッドを操作している間、警告音 （ブー、ブー、ブーという音）が断続的に鳴る場合、バッテリーは 75% ～ 100% 充電しています。

この状態において、ベッドの全機能は動作可能です。

ベッドを操作している間、警告音が連続的に鳴る場合、バッテリーは 10% ～ 75% 充電しています。

この状態において、ベッドの全機能は動作可能です。

ACP バッテリーインジケータが赤く点灯している場合、バッテリーの充電レベルは 10% 未満です。

この状態において、すべての機能はロックされます。

バックアップバッテリーの充電

バッテリーを充電するには、ベッドの電源コードを電源に接続します。完全に放電しているバッテリーは、最低でも 8 時間充電する必要があります。

バッテリーの充電中は、 ACP バッテリーインジケータが黄色に点灯します。バッテリーが完全に充電すると、インジケータは消灯します。

警告

バッテリーを長時間放電したままにすると、その動作寿命は短くなります。

バッテリーは内蔵充電器でのみ充電する必要があります。他の充電器あるいは電源を使用しないでください。

バックアップバッテリーは通気を良くして充電するようにしてください。バッテリー通気孔を布などで覆ったり、その周辺に障害物を置いたりしないでください。

低電力モード

ベッドを電源から切り離すと、低電力モードになってバッテリー電力が節約されます。この状態では、足元ライト、コントロールパネルのインジケータおよび計量システムディスプレイは消灯しています。

いずれかのコントロールボタンを押すと、ベッドは低電力モードを終了します。最後のコントロールボタンを押した後、2 分でベッドは低電力に戻ります。

デューティサイクルロックアウト

コントロール類を連続操作すると、ベッドの電気系に定められているデューティサイクルが超え、ボタンの上のインジケータが点滅します。その 30 秒後、インジケータは点灯して、すべての機能はロックされます。

この状態に陥った場合、少なくとも 18 分お待ちいただき、 35 ページの「機能ロックアウト」のセクションに記載されているロック解除の手順に従ってください。

患者体重計量システム

体重計量システム用コントロール類は、足部先端スプリットサイドレール上にあります。

図 21 - 患者体重計量システムコントロール類

ディスプレイ：患者の体重をキログラムで表示します。その他の情報、例えばベッドセクション角度を表示することもできます。

計量：このボタンは患者の体重を計算および表示するのに使用します。

自動補正 （風袋）：このボタンによって、患者の表示体重をそのままにして、ベッドにアイテムを追加したり、ベッドから除去したりすることができます。

ゼロ：このボタンは、ベッドを初めてセットアップしたとき、および新しい患者によってベッドが使用されたとき、計量システムをリセットするのに使用します。

体重表示の選択：このボタンにより、100g または 500g 未満を四捨五入して患者の体重を表示できます。

警告

計量システムは、計量機能の正しい使用方法について訓練を受けている職員のみが使用してください。

体重計量システムは、取扱説明書に記載されるとおり、患者の体重に影響を及ぼす要因（ベッドへの付加物など）をコントロールできる、緊密に管理された環境でのみ使用できます。

精度

計量システムは非常に敏感であり、数多くの外部要因に影響されます。最高のパフォーマンスを発揮させるには、以下の予防措置を実施してください：

- ベッドがフラットで、水平になっていることを確認する。
- 使用前に運搬用ロックボルトとワッシャーが外されていることを確認する。7 ページを参照。
- 障害物となる、壁、家具、ケーブルおよびカーテン等から離れた場所にベッドを配置する。
- 計量中、患者の体全体がマットレス上にあることを確認する。
- 計量を実施している間、患者はできる限り体を動かさず、他の人間はベッドから離れること。
- 計量の間、患者、枕およびベッド用シーツがヘッドボードに触れないことを確認する。

注意

ヘッドボード （図 22、品番 1）と頭部先端のリフト用ポール付属品ソケット （図 22、品番 2）以外のベッドに取り付けられているアイテムやベッドのいずれかの部分に置いてあるアイテムは、患者計量システムに影響を及ぼします。

電源ケーブルがヘッドボードおよびベッドの固定部品により動きの制約を受けていないことを確認してください。ケーブルが何かに引っかかったりすると、計量システムの精度が影響を受けることがあります。

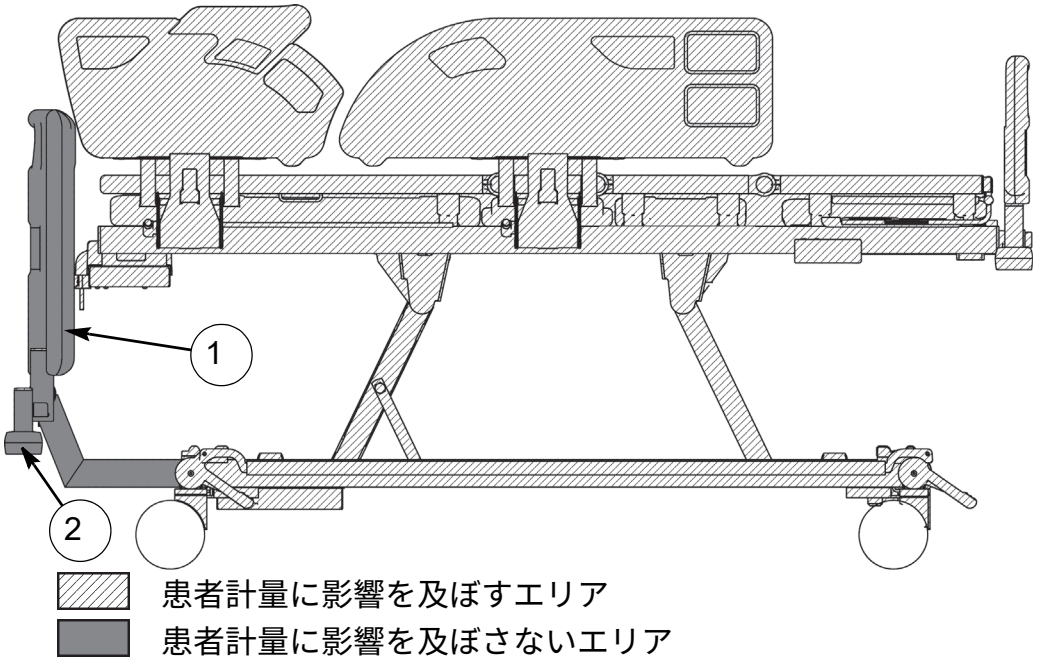


図 22 - 患者計量の影響エリア

注記
アイテム （例：ドレナージバッグ、 iv ポール、マットレスポンプ、寝具、その他）を追加または除去する前に自動補正機能を使用してください。

初期化

ベッドを電源に接続した後、計量システムは以下のように初期化する必要があります：

1. マットレス、ベッド用シーツおよび必要な付属品をすべてベッドに配置します。この時点で患者をベッドに乗せないでください。

2. **ゼロ**ボタンを 1 回押します。

3. 数秒後、ディスプレイには0.0が表示されます。

4. この時点で患者はベッドに乗ることができます。

5. 患者が一度ベッドに乗ると、ベッドは再度ゼロ設定ができなくなります。リネンや付属品のようなアイテムをベッドに追加したり、ベッドから除去したりする場合は、自動補正機能を使用してください。

警告

計量システムは参考データのみの提供を意図しています。計量システムは、医薬品投与量を決定するために計量値の提供として意図していません。

注意

新しい患者がベッドを使用するたびに、計量システムはゼロ設定を実施する必要があります。

注意

マットレスを交換するたびに、計量システムはゼロ設定を実施する必要があります。

注意

重量 35Kg 以上のマットレスや付属品が取り付けられている場合、計量システムはゼロ設定できません。ベッドのゼロ設定を正しく実施するには、アルジョ認定マットレスのみを使用してください。

計量

患者の体重を計算および表示するには：

1. 患者をベッドの中央に寝かせて、**計量**ボタンを 1 回押します。

2. 安定した重量測定値が得られるまで、動くサークルパターンがディスプレイに表示されます。

3. 患者の体重が 10 秒間表示されてから、ディスプレイはブランクになります。

患者の体重は通常、 500g 未満を四捨五入して表示されます。これを一時的に 100g に変更するには、**体重表示選択**ボタンを押してください。次に**計量**ボタンを押すと、ディスプレイは 500g に戻ります。

注記 100g 体重表示は、比較読み取りにのみ使用してください。

自動補正

自動補正機能により、患者の表示体重をそのままにして、ベッドから一定重量（最大 100kg）を追加したり、ベッドから除去したりすることができます。

1. 患者をベッドに寝かせた状態で、**自動補正**ボタンを 1 回押します。

2. 安定した重量測定値が得られるまで、動くサークルパターンがディスプレイに表示されます。

3. ディスプレイには、システムが自動補正モードにあることを示す AUtO が表示されます。

4. 必要に応じて、付属品、ベッド用シーツ、枕、その他を追加または除去します。

5. **自動補正**ボタンを再び押します。

6. 動くサークルパターンがディスプレイに数秒間表示されてから、患者の重量表示に戻ります。

注意

精度を維持するために、計量システムは定期的な校正が必要です。49 ページの「予防保守」を参照してください。

エラーコード

エラーコードはディスプレイに表示されます。計量システムの問題を示すのに使用されますが、この問題は使用者エラーあるいは可能な障害状態に起因するものです。

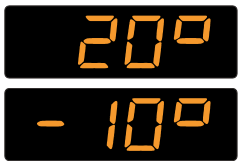
下表に、一般的なエラーコード、原因および対処法を示します。

ディスプレイ	原因	対処法
E001	バッテリーパワーがありません。	ベッドを電源に接続して、計量システムを初期化してください。 41 ページを参照。
E002	自動補正重量が 100kg 以上減少しています。	ベッドから除去した重量を戻してください。
E003	自動補正重量が 100kg 以上増加しています。	追加した重量をベッドから除去してください。
E102	安定した重量測定値が 10 秒以内に取得されませんでした。	40 ページの 「精度」のセクションに記載されているポイントを参照してください。

注記
上記以外のエラーコードがディスプレイに表示されている場合、製品サービスマニュアルを参照するか、アルジョ代理店にお問い合わせください。

角度指定

背もたれ角度または傾斜角度のコントロール類を操作すると、計量システムのディスプレイには、その選択機能についておよその角度が表示されます。



角度はフロアを基準に表示されるため、マットレスプラットフォームを傾けると、背もたれ角度と大腿部セクション角度の値は変化します。

低頭位傾斜の場合、傾斜角度はマイナスの値で表示され、低足位傾斜の場合、プラスの値で表示されます。

VariZone™ 患者離床検出システム

患者離床検出システムは、患者が望ましくない動きをしたときにアラームを発生できます。患者離床検出の感度は、マットレスプラットフォームの中心に対して設定されており、増加することができます。

患者離床検出システムのコントロール類は、足部先端のスプリットサイドレール上にあります。

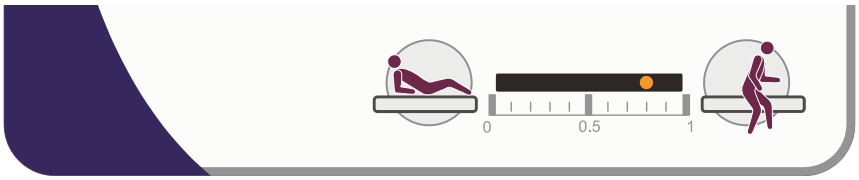
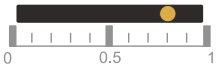


図 23 - 患者離床検出システム用コントロール類

着床：このボタンにより、患者の動き検出を有効/無効にして、システムの感度を増加できます。



患者の動き検出閾値表示：インジケータにより、現在のシステム状態と患者の動き検出の感度が表示されます。

ベッド外 (Egress)：このボタンにより、患者離床検出を有効/無効にして、システムの感度を低下できます。

警告

新しい患者がベッドを使用する前に、患者離床検出機能が正しく作動するか定期的にチェックするようにしてください。

アルジョハントレーによって認定されていないマットレスは使用者自身が検証して、*VariZone* システムが正常に動作することを確認する必要があります。

注記
患者離床検出が高感度に設定されている場合、患者離床検出機能が有効になっている間、マットレスプラットフォームの姿勢を調整すると、アラームがなることがあります。

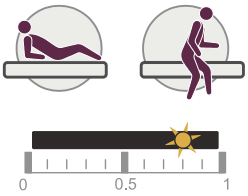
操作

患者離床検出を有効にする前に、以下を確認してください：

- 患者の体重と身長が測定および記録されている。
- 自動補正機能を使用する上で、すべての追加アイテム （例えば、付属品）が考慮されている。
- 計量システムディスプレイが空欄である。

警告

患者離床検出システムを使用する前に、ナースステーション等で介助者がアラームを容易に聞けることを検証してください。



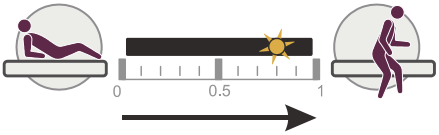
患者離床検出を有効にするには、ベッド内 (**In Bed**) ボタンまたはベッド外 (**Egress**) ボタンを 2 秒間押します。

感度表示インジケータは点滅して、アラーム感度レベルを表示します。

点滅しているインジケータが左側に行く程アラーム感度は高くなり、ベッド内での患者の小さな動きでも検知されます。

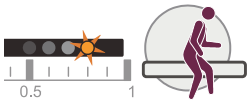
点滅しているインジケータが右側に行く程アラーム感度は低くなり、患者がベッドから出るような大きい動きのみ検知されます。

高い感度



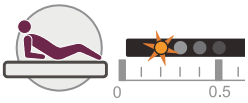
低い感度

患者離床検出の感度を下げるには：

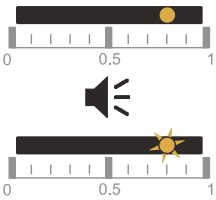


ベッド外 **(Egress)** ボタンを長押しすると、点滅インジケータが右に移動します。希望する感度値に到達したら、ボタンを放してください。

患者離床検出の感度を上げるには：

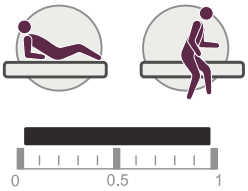


ベッド内 **(In Bed)** ボタンを長押しすると、点滅インジケータが左に移動します。希望する感度値に到達したら、ボタンを放してください。



数秒後、インジケータの点滅は点灯に変わり、患者移動検出が有効であることを示します。

設定した感度値を超えた患者の動きが検出されると、可聴アラームが鳴って、インジケータが点滅します。



アラームをキャンセルまたは患者離床検出を無効にするには：

ベッド内ボタンまたは**ベッド外**ボタンを一度押します。

アラームは鳴らなくなり、感度値表示インジケータは消えて、患者離床検出は無効であることを示します。

挟み込み防止システム

挟み込み防止システムは、マットレスプラットフォームを降下したり、傾斜またはオートチェア状態にしたときに、ベースとマットレスプラットフォーム間に患者が挟まれたのを検出する目的で設計されています。システムは常に有効になっており、オフにすることはできません。

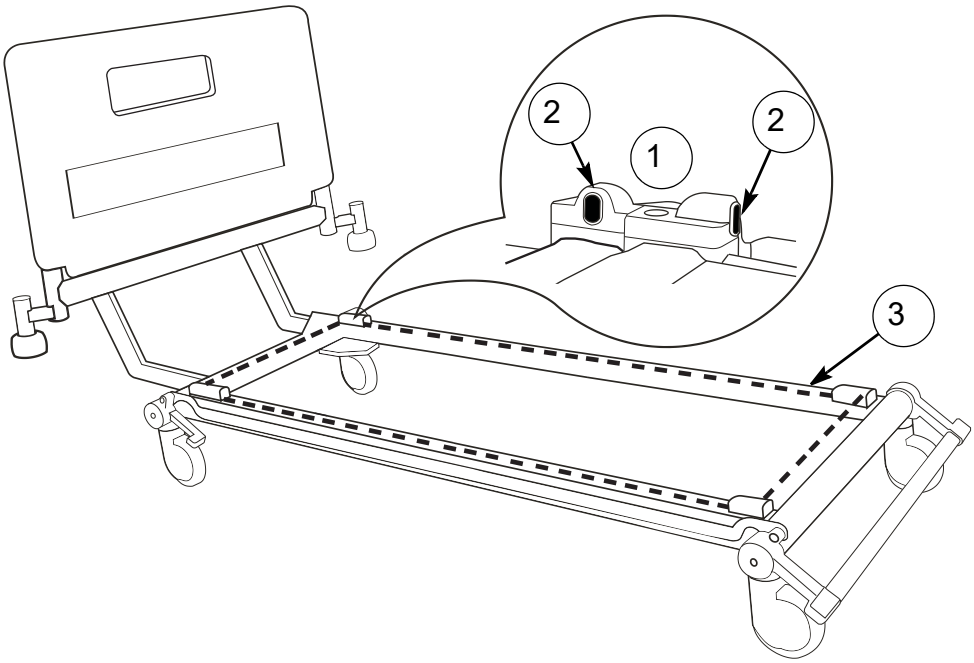


図 24 - 挟み込み防止センサー

4 個の赤外線センサー (**1**) があり、各キャスターの上に 1 個ずつ付いていて、ベッドのベースに沿って (**3**) 赤外線が照射されています。

マットレスプラットフォームが降下している間に赤外線が遮断された場合（患者の手足等によって）、マットレスプラットフォームの動きは停止して、体重計量システムディスプレイにはAESが表示されます。マットレスプラットフォームの上への動きには影響ありません。

注記
赤外線がベッド用シーツ、その他によって遮断された場合でも、挟み込み防止システムは作動します。

警告

赤外線センサーのレンズ (2) は、乾燥した柔らかいクロスで定期的に掃除してください。

警告

クリーニングあるいはメンテナンス作業を開始する前に、ベッドを電源から切り離してください。 ACP の機能がロックされていない場合、ベッドはバッテリーで作動します。

マットレスプラットフォームセクション

4 つのマットレスプラットフォームセクション （背もたれ、臀部、大腿部および下腿部）は、マットレスプラットフォームフレームから持ち上げて取り外せます。

下腿セクション (**2**) を取り外す前に、下腿部拡張シート (**1**) を持ち上げてください。

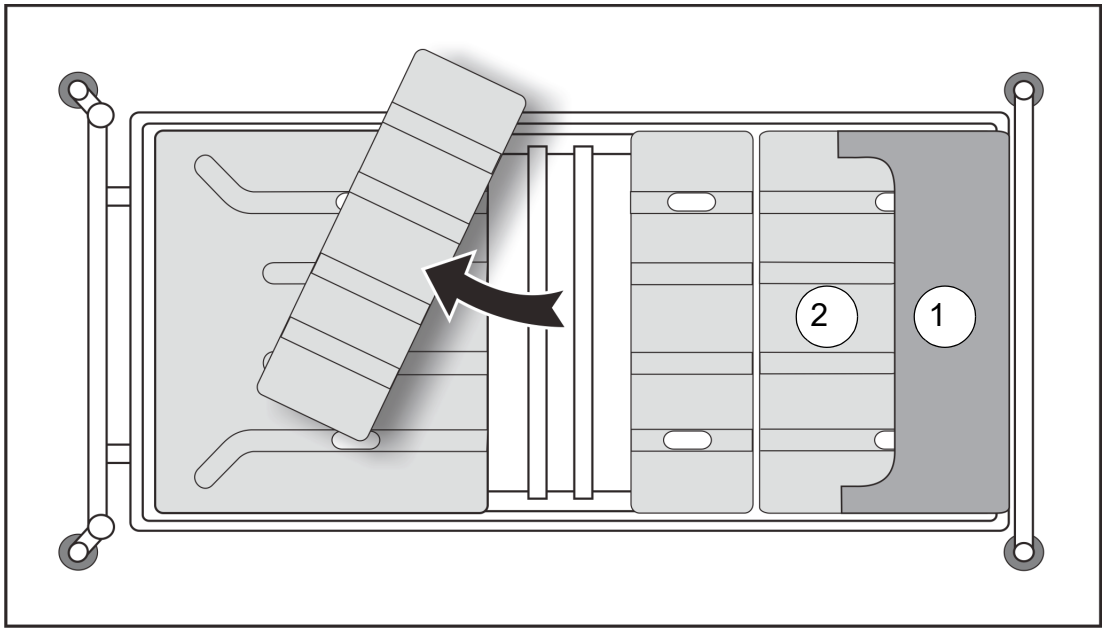


図 25 - マットレスプラットフォームセクション （上面図）

各セクションを元に戻すには、マットレスプラットフォームフレーム上で正しく配置されていることを確かめて、所定の位置にカチッとはまるまでしっかりと押し付けてください。

下腿部拡張シート (**1**) は、マットレスプラットフォームフレームの先端に留めて、配置します。

汚染除去方法

警告

電源プラグや電源コードを濡らさないようにしてください。

注意

研磨剤や研磨パッド、あるいはフェノール系消毒薬は使用しないでください。
高圧洗浄機やその他の強力な洗浄装置を使用しないでください。
アクチュエータピストンからグリースを除去しないでください。

注記
本取扱説明書は付属品に適用されますが、マットレスには適用されません。リフト用ストラップやハンドルについては、製品に付属するメーカーの取扱説明書を参照してください。

ベッドは毎週、あるいは新しい患者がベッドを使用する前に掃除および消毒するようにしてください。

洗浄

ベッドからマットレスとすべての付属品を取り外します。

ヘッド / フットボードとマットレスプラットフォームシートは、ベッドから取り外して洗浄してください。

適切な防護服を着て、中性洗剤入りの温水に浸した使い捨てクロスで機器の表面をすべて掃除してください。

ベッドの上部から開始し、次にすべての水平面に沿って汚れを除去してください。ベッドの下部も丁寧に汚れを取り、最後にキャスターを掃除します。埃や汚れがたまる部分は特に注意して掃除してください。

綺麗な真水に浸した新しい使い捨てクロスでベッド全体を拭いてから、使い捨てペーパータオルで水分を拭き取ります。

マットレスを戻す前に、掃除した部分を乾かしてください。

消毒

上述のとおりベッドの汚れを除去した後、有効塩素濃度 1,000ppm (0.1%) のジクロロイソシアヌル酸ナトリウム (NaDCC) で全表面を拭きます。

血液などの体液が付着している場合、NaDCC の有効塩素濃度を 10,000ppm(1%) まで増加して使用してください。

その他の消毒液の使用

アルジョは、効果的かつ安定していて、優れた中性度 (pH) を備えているため、消毒剤としてジクロロイソシアヌル酸ナトリウム (NaDCC) を推奨します。ヘルスケア施設ではさまざまな消毒剤が使用されていますが、アルジョにおいて各消毒剤がベッドの外観や性能に影響を及ぼすかどうかを試験するのは不可能です。

施設の事情により、NaDCC 以外の消毒剤（例えば、希釈した漂白剤や過酸化水素）を使用する必要がある場合、メーカーの指示に従って、注意してそれを使用してください。

予防保守

本製品は使用している間、摩耗する機器です。製品仕様の範囲内で性能を維持させるには、予防保守を以下に示す間隔で実施する必要があります。

警告

この表には、予防保守の最低推奨レベルが示されています。製品を酷使したり、苛酷な環境に曝したりしている場合、あるいは地域の規制によって求められている場合、さらに頻繁な点検を実施してください。

これらの点検を怠ったり、不具合が見つかっているにもかかわらず製品を使用し続けたりすると、患者と介助者双方の安全を損なう恐れがあります。予防的保守は事故を未然に防ぐのに役立ちます。

注記
患者が製品を使用中であるときは、製品の保守や修理をすることができません。

介助者が実施すべき措置	毎日	毎週
スプリットサイドレールの動作をチェックする。	✓	
キャスターを目視点検する。		✓
ベッドの両側にある手動 CPR リリースハンドルの動作をチェックする。		✓
電源コードと電源プラグを目視点検する。		✓
すべての電動ベッド位置調整機能 （背もたれ、高さ、傾き、その他）について完全な検査を実施してください。		✓
患者用コントロール類、介助者用コントロール類およびアテンダントコントロールパネルが正常に作動することをチェックしてください。		✓
体重計量システムコントロール類が正常に動作することをチェックする。		✓
挟み込み防止システムの動作をチェックして、センサーレンズを掃除する （46 ページを参照）（オプション機能）。		✓
マットレスに破損や液体の侵入がないかチェックして下さい。		✓
リフト用ポール、ストラップおよびハンドルをチェックする（オプション機能）。	✓	

以上のチェックにおいて問題がある場合、アルジョまた代理店にご連絡ください。

警告

以下の措置は、適切な訓練を受けている有資格担当者によって実施する必要があります。それを怠ると、怪我を招いたり、安全性を欠いた製品になったりする恐れがあります。

有資格担当者によって実施すべき措置	毎年
最大足頭位傾斜が適用されているとき、ベッドストリッパー （リネン棚）（オプション機能）がその設定位置にあることをチェックする。	✓
51 ページの 「バッテリーテ スト」のセクションに記載されているとおり、ベッドがバックアップバッテリーで正常に動作することをチェックする。	✓
ブレーキやステアリング機能に特に注意しながら、キャスターの動作をチェックする。	✓
大腿部セクションが起こされているとき、下腿部セクションがファウラー位置に移動することをチェックする。	✓
手動で起こした際に、下腿部セクションが水平 （バスキュラー）位置にラッチすることをチェックする。	✓
ベッド伸長が 3 つの位置でしっかりとロックすることをチェックする。	✓
電源コートと電源プラグをチェックして、損傷している場合、完成品に交換する。再配線可能なプラグを使用しないこと。	✓
すべてのフレキシブルケーブルに損傷や劣化がないかチェックする。	✓
すべてのナット、ボルトおよびその他の留め具が所定の位置あり、正しく締め付けられていることをチェックする。	✓
留め具や可動部品に特に注意しながら、別途に取り付けられている付属品をチェックする。	✓

体重計量システム

体重計の認証と校正に関する地域のガイドラインや規則のすべてを遵守してください。

ベッドに提示されている有効期限の前に、計量システムは再校正する必要があります。ベッドは 1 年に 1 回、再認証するようにしてください。認証に不合格であった場合は、計量システムを再校正する必要があります。

認証や校正の手順については、製品サービスマニュアルを参照するか、アルジョ代理店にお問い合わせください。

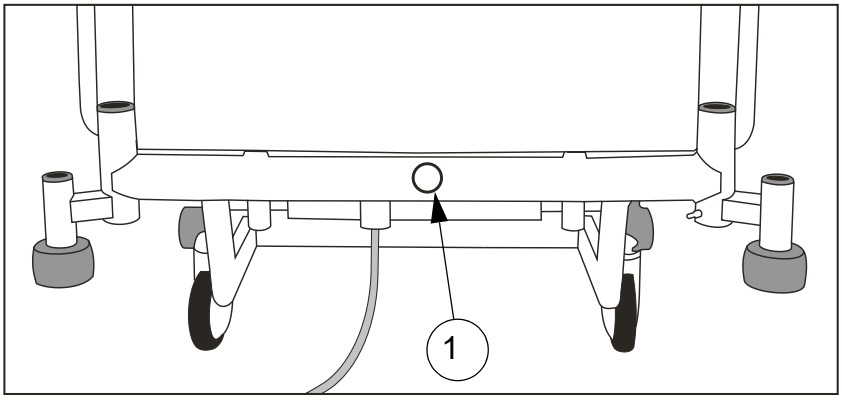


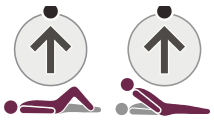
図 26 - 計量校正期限日ラベル

バッテリーテスト

以下のテストを実施して、バックアップバッテリーの状態をチェックしてください。

1. 電源プラグを抜いて、ベッドを主電源から切り離してください。

2. マットレスプラットフォームを最大高さまで上昇させます。バッテリー警告音は無視してください。



3. 背もたれと大腿部セクションをできる限り起こします。

4. CPR ボタンを長押しします。マットレスプラットフォームが動いて、フラットな中程度の高さになります。

5. マットレスプラットフォームを最小高に降下させます。

6. 最大低頭位傾斜 （トレンデレンブルグ）を適用します。

7. マットレスプラットフォームを水平位置に戻し、次に最大低足位傾斜 （リバーストレンデレンブルグ）を適用します。

このテストが正常に完了しない場合、ベッドを電源に少なくとも 8 時間接続してバッテリーを充電した後、テストを再び実施してください。テストに再度失敗した場合、アルジョまたは代理店にご連絡ください。

最高の性能を維持するには、代理店によりバックアップバッテリーを 5 年毎に交換するようにしてください。

トラブルシューティング

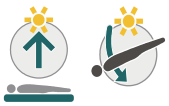
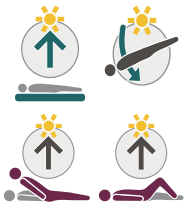
製品が正常に動作しない場合、下表に参考となる簡単なチェックと是正措置が記載されています。これらを実施しても問題が直らない場合、アルジョまたは代理店にご連絡ください。

症状	想定される原因	処置
ベッドの使用時に 「ビープ」音が鳴る。	ベッドがバックアップバッテリーで動作している。	電源コードが接続されていて、電源も問題ないことをチェックする。 電源プラグのヒューズをチェックする （装着されている場合）。
1 個以上のベッド機能が作動しない。	ACP の機能がロックされている。	ACP の機能をロック解除する。
ベッドをスムーズに移動するのが困難である。	ブレーキペダルが「ステア」位置になっている。	ブレーキペダルを 「フリー」位置にしてください。
ACP 上の全インジケータが点灯または点滅する。	電気系システムのデューティサイクルを超えている。	38 ページの 「デューティサイクルロックアウト」のセクションを参照
マットレスプラットフォームを降下できない。	高さコントロールソフトウェアのエラー。	マットレスプラットフォームを最大高まで上昇させてソフトウェアをリセットしてください。
エラーコード E300 が表示されます。	コントロールボタンが 90 秒以上押された。	コントロールボタンを押しているものを除去してください。それでもエラーコードが表示される場合、アルジョ代理店にご連絡ください。
マットレスプラットフォームを降下できず、エラーコード AES が表示される。	挟み込み防止システムが作動している。	マットレスプラットフォームの下から障害物を除去してください。それでもベッドを下降できない場合、アルジョ代理店にご連絡ください。
エラーコード E410	サービスエラー	アルジョの有資格担当者に連絡してください。
患者がベッド上で動くとアラームが鳴る。	患者離床検出感度値が高すぎる。	VariZone 感度値設定を下げてください。
患者の体重表示でエラーが発生する。	マットレスプラットフォームが障害物等で妨害されている。	マットレスプラットフォームが家具、カーテン、ケーブル、その他に接触していないことを確認してください。 自動補正機能を使用しないで、ベッドに重量が追加されていないことを確認してください。
手動 CPR リリースハンドルを使用しても背もたれが降下しない。	患者の体重が背もたれにしっかりとかかっていない。	背もたれセクションを押してください。
エラーコード E001	バッテリーパワーがありません。	ベッドを電源に接続して、計量システムを初期化してください。 41 ページを参照。

症状	想定される原因	処置
エラーコード E002	自動補正重量が 100kg 以上減少しています。	ベッドから除去した重量を戻してください。
エラーコード E003	自動補正重量が 100kg 以上増加しています。	追加した重量をベッドから除去してください。
エラーコード E102	安定した重量測定値が 10 秒以内に取得されませんでした。	40 ページの 「精度」のセクションに記載されているポイントを参照してください。

故障通知

ベッドのコントロールソフトウェアは、アテンダントコントロールパネル (ACP) 上のインジケータを点滅させて、電気系の障害をあることを通知します。以下の表示がある場合、アルジョまたは代理店にご連絡ください。

表示	想定される原因
 ACP マットレスプラットフォーム高と低頭位傾斜インジケータが点滅する。	ハイトアクチュエータ障害（足部先端）
ACP マットレスプラットフォーム高と低足位傾斜インジケータが点滅する。	ハイトアクチュエータ障害（頭部先端）
ACP背もたれインジケータが点滅する。	背もたれセクションアクチュエータ障害
ACP 大腿部セクションインジケータが点滅する。	大腿部セクションアクチュエータ障害
 マットレスプラットフォーム高さ、低頭位傾斜、背もたれおよび大腿部セクションインジケータが点滅する。	コントロールユニット障害

想定製品寿命

本製品の想定寿命は消耗部品を除きおよそ 10 年です。「寿命」は、本取扱説明書の要件に従った通常使用の状態で製品が保守および操作されていることを条件として、製品が仕様書で指定されている性能および安全性を維持する期間として定義されます。

7. アクセサリとケーブル

ベッドの推奨付属品を下表に示します。
アイテムによっては一部の国で利用できないものがありますのでご注意ください。

付属品	製品コード
ストラップとハンドル付きリフト用ポール	ENT-ACC01
IV ポール	ENT-ACC02
IV ポールスチールフック	ENT-ACC02 SH
3 点式ストラップとハンドル付きリフト用ポール	ENT-ACC03
アングル付き IV ポール	ENT-ACC04
フラクチャーフレーム	ENT-ACC05
シリンジポンプホルダー	ENT-ACC07
酸素ボトルホルダー （CD、 D、 E および PD シリンダ用）	ENT-ACC08
スモールトラクションアセンブリ	ENT-ACC10
ACP ホルダー	ENT-ACC11
IV ポール用追加フック	ENT-ACC14
電源コード保管フック （ベッドに付属）	ENT-ACC15
酸素ボトルホルダー （B5 シリンダ用）	ENT-ACC18
排尿ボトルホルダー	ENT-ACC19
ヘビーデューティ IV ポール	ENT-ACC24
水準器	ENT-ACC25
トランスデューサ取り付けポール	ENT-ACC26
頭部トラクションアセンブリ	ENT-ACC32
ITU 頭部先端パネル （ヘッドボード）	ENT-ACC34
Oxylog® 機器ブラケット	ENT-ACC40
ベッドパンホルダー	ENT-ACC56
酸素ボトルホルダー	ENT-ACC58
モニターテーブル	ENT-ACC64
リフト用ポール付き IV 液体バッグホルダー	ENT-ACC65
足部先端パネル	ENT-ACC66
排尿ボトルホルダー	ENT-ACC69
IV ポール	ENT-ACC71
モニターテーブル	ENT-ACC74
一体型 IV ポール	ENT-ACC89

Oxylog は Dräger Medical の登録商標です。

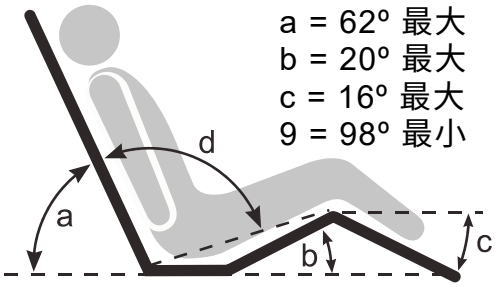
番号	名称	ケーブル長 (m)	シールドあり/なし	注記
1	ケーブル	2.895	番号	/

8. 技術データ

一般	
安全耐荷重	250kg
患者の最大体重	185kg
製品重量 （およそ）	180kg
可聴ノイズ	約 50dB
操作条件	
温度	10°C ~ 40°C (50°F ~ 104°F)
相対湿度	30°C で 20% ~ 90%、結露させない
大気圧	700hPa ~ 1060hPa
電気仕様	
入力電力	230V a.c. で最大 3A 50/60Hz 230V a.c. で最大 3A 60Hz (KSA) 120V a.c. で最大 5.8A 60Hz 100V a.c. で最大 6.8 50/60Hz
デューティサイクル	10% （ON2 分、 OFF18 分）
電気ショック保護	等級 I 等級 B
防水防塵保護等級	IPX4
バックアップバッテリー	2 x 12V 直列接続、密閉型鉛蓄電池、1.3Ah
患者体重計量システム	
最低認証間隔 （目盛分割） *e*	500g
最小容量	10kg
最大容量	250kg
適合規格 [1]	指令 2014/31/EU に準拠、精度クラス：III
スケール定格 [2]	クラス III

[1] CEN 地域の社員の国に適用

[2] 世界のその他の地域に適用

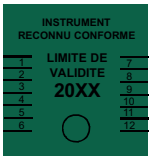
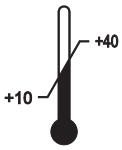
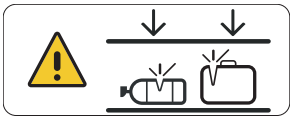
寸法 （標準的な製造上の許容誤差を前提）	
全長	
位置 1 （ショート）	224cm
位置 2 （スタンダード）	235cm
位置 3 （エクステンデッド）	247cm
インベッド長	
位置 1 （ショート）	192cm
位置 2 （スタンダード）	203cm
位置 3 （エクステンデッド）	215cm
全幅	103cm
マットレスプラットフォームの高さ （臀部セクションの中心からフロアまで）	
125mm キャスター付き	32cm ～ 76cm 曲面デッキシート 34cm ～ 78cm 平面デッキシート
150mm キャスター付き	34cm ～ 78cm 曲面デッキシート 36cm ～ 80cm 平面デッキシート
低頭位傾斜角度	最小 12°
低足位傾斜角度	最小 12°
マットレスサイズ （セクション 15 ページの 「マットレス」を参照）	
位置 2 （スタンダード）	202cm x 88cm、厚さ 12.5 ～ 18cm
マットレスプラットフォーム角度	

使用期間後の廃棄方法
• 電気および電子部品にて構成される機器は、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。 • 製品に付属しているすべてのバッテリーは別々にリサイクルしなければなりません。バッテリーは、国または地方条例に従って廃棄してください。 • ベッドフレームのような主にさまざまな金属で構成される部品 （重量で 90% 以上が金属）は、金属としてリサイクルしてください。

輸送と保管	
取扱いにご注意ください。落下させないでください。衝撃や激しい衝突を回避してください。 この製品は、以下の条件を満たす清潔で乾燥した換気の良い場所に保管してください。	
温度	-10°C ~ 50°C
相対湿度	30°C で 20% ~ 90%、結露させない
大気圧	700hPa ～ 1060hPa
注意 **ベッドを長期間保管する場合、バックアップバッテリーを充電するために、3 ヶ月毎に 1 回、24 時間電源に接続するようにしてください。そうしないと使用不能になる恐れがあります。**	

記号	
= 250 kg/ 550 lb	安全耐荷重
= 185 kg/ 407 lb	患者の最大体重
	交流 (a.c.)
	注意
	操作方法 - 取扱説明書を確認すること
	タイプ B 適用部品 適用部品は以下と見なされます：上部フレームセクション、ベッドコントロール類、スプリットサイドレール、ヘッドおよびフットボード
	製造元/製造年月日
CE 2797	欧州共同体統一法への適合を示す CE マーキング図は、 監督認証機関のトレードマークです。
SN	シリアル番号
REF	モデル番号

記号 （続き）	
MD	本製品が以下の基準に準拠していること示します。 欧州医療機器規則 2017/745
	取扱説明書/冊子を参照してください。使用上の注意をよくお読みください。
UL CERTIFIED SAFETY US·CA E348583	感電、火災、および機械的危険のみについて UL認証取得済み： ANSI/AAMI ES60601-1:2005 + AMD1:2012 CAN/CSA-C22.2 No. 60601-1:14 IEC 60601-1:2005 + AMD1:2012 IEC 60601-1-6:2010+AMD1:2013 IEC 60601-2-52:2009+AMD1:2015
	電気・電子機器廃棄物 (WEEE) - 一般的な家庭ゴミまたは商業ゴミと一緒に本製品を廃棄しないでください。
	等電位端子
	アース接地 （グランド）
	推奨マットレスサイズ
≥ 40 kg ≥ 146 cm BMI ≥ 17	患者の推奨サイズ
kg / lb kg / lb = kg / lb	安全耐荷重を含む機器の全重量
	下腿部セクション バスキュラー位置
	マットレスプラットフォーム拡張

記号 （続き）	
	校正期限日ラベル
	校正期限日ラベル （フランス）
	ブレーキ操作ラベル LH
	ブレーキ操作ラベル RH
	体重計の使用における最小/最大温度を示します
M15 1234	計量認証期間番号、 NAWI 指令 2014/31/EU に準拠 上記の架空の例では、「15」は取り付け年度の 2015 年を示し、「1234」は計量認証機関を示します。
	操作中は酸素ボトルやその他の障害物をベッドフレームの下に放置しないでください。
UDI	機器固有識別子 (UDI)

9. 警告とサービス

アルジョの標準約款はすべての販売に適用され、要求に応じてその複写が入手できます。標準約款は保証条件の完全な詳細内容を含んでおり、消費者が有する制定法上の権利を制限することはありません。

サービス、メンテナンスおよび本製品に関するご質問については、最寄りのアルジョ事業所あるいは販売代理店にお問い合わせください。各地域のアルジョ事業所については、本取扱説明書の巻末に記載されています。

サービス、スペア部品または付属品についてアルジョに問い合わせる際は、製品のモデル番号とシリアル番号をご提示ください。

10. 電磁環境適合性

本製品は、外部からの EMI（電磁障害）遮断能力に関して、現行の規制基準への準拠がテストされています。

一部手順は電磁波の干渉軽減に役立ちます。

- 患者のモニターシステム / 生命維持装置などが、電磁エミッション規格に準拠しているか確認してください。

警告

本製品を他の機器に隣接して使用したり、または積み重ねて使用すると、誤作動することがありますので避けてください。このような使用法が必要な場合、本製品と他の機器を観察して、それぞれ正常に作動しているかを確認してください。

警告

ポータブル RF 通信機器 （アンテナケーブルや外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、メーカー指定のケーブルを含む Enterprise 9000X のすべての部品から、 30 cm （12 インチ）以上離して使用しなければなりません。守らない場合、この機器の性能が低下する場合があります。

警告

製造元による指定または提供がされていない付属品、変換機、ケーブルを使用すると、この機器における電磁放射の増加、または電磁環境耐性の減少を引き起こし、不適切な動作につながる可能性があります。

想定する使用環境：医療施設

例外：磁気共鳴映像法用 ME システムの無線シールドルームおよび高周波手術器具

<table>
<tr><th colspan="3">製造者からのガイダンス – 電磁界エミッション</th></tr>
<tr><th>エミッション試験</th><th>コンプライアンス</th><th>ガイダンス</th></tr>
<tr><td>RF エミッション
CISPR 11</td><td>グループ 1</td><td rowspan="4">本製品は RF エネルギーをその内部機能のためにのみ使用します。従って、その RF エミッションは非常に低いため、近隣の電気機器に影響を及ぼしにくくなっています。

本製品は家庭用施設、および家庭用に使われる建物に供給する公共低電圧電力供給ネットワークに直接接続されたものを含む、あらゆる施設での使用に適しています。</td></tr>
<tr><td>RF エミッション
CISPR 11</td><td>クラス A</td></tr>
<tr><td>高調波放射
IEC 61000-3-2</td><td>クラス A</td></tr>
<tr><td>電圧変動 /
フリッカーエミッション
IEC 61000-3-3</td><td>準拠</td></tr>
<tr><td colspan="3">注記：本製品のエミッション特性は、工業地域や病院での使用に適しています （CISPR 11 クラス A）。住宅環境で使用する場合 （通常 CISPR 11 クラス B が必要）、本製品は無線周波通信サービスに対し、十分な保護を提供しない可能性があります。ユーザーは、装置の位置や向きを変えるなどの調節を行う必要がある場合があります。</td></tr>
</table>

製造者からのガイダンス – 電磁環境耐性		
イミュニティ試験	**IEC 60601-1-2 試験レベル**	**コンプライアンスレベル**
静電気放電 (ESD) EN 61000-4-2	±2kV、 ±4kV、 ±8kV、 ±15kV 気中 ±8kV 接触	±2kV、 ±4kV、 ±8kV、 ±15kV 気中 ±8kV 接触
RF 場により惹起された電動妨害 EN 61000-4-6	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、 1 kHz にて	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、 1 kHz にて
放射 RF 電磁場 EN 61000-4-3	専門的医療環境 3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、 1 kHz にて	専門的医療環境 3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、 1 kHz にて
RF 無線通信機器の近接フィールド EN 61000-4-3	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m
電気的ファースト・トランジェント / バースト EN 61000-4-4	±2kV AC ポート 100kHz 反復周波数	±2kV AC ポート 100kHz 繰返し周波数
電源周波数磁場 EN 61000-4-8	30A/m 50 Hz または 60 Hz	30A/m 50 Hz
サージ IEC 61000-4-5	±0.5kV ±1kV、 ±2 kV、交流主電源、ライン - アース間 ±0.5kV ±1kV、交流主電源、ライン - ライン間	±0.5kV ±1kV、 ±2 kV、交流主電源、ライン - アース間 ±0.5kV ±1kV、交流主電源、ライン - ライン間
電源入力ライン上の電圧降下、中断および電圧変動 入力ライン） IEC 61000-4-11	0% UT; 0.5 サイクル 0°、 45°、 90°、 135°、 180°、 225°、 270° および 315° にて 0% UT; 1 サイクル および 70% UT; 25/30 サイクル 単相：0° にて 0% UT; 250/300 サイクル	0% UT; 0.5 サイクル 0°、 45°、 90°、 135°、 180°、 225°、 270° および 315° にて 0% UT; 1 サイクル および 70% UT; 25/30 サイクル 単相：0° にて 0% UT; 250/300 サイクル
近接磁界 EN 61000-4-39	134.2 kHz - 65 A/m 13.56 MHz - 7.5 A/m	134.2 kHz - 65 A/m 13.56 MHz - 7.5 A/m
注記：U_T は、テストレベルの適用前における AC 電源の電圧です。		

意図的に空白

意図的に空白

AUSTRALIA
Arjo Australia
Building B, Level 3
11 Talavera Road
Macquarie Park, NSW, 2113,
Australia
Phone: 1800 072 040

BELGIQUE / BELGIË
Arjo Belgium
Evenbroekveld 16
9420 Erpe-Mere
Phone: +32 (0) 53 60 73 80
Fax: +32 (0) 53 60 73 81
E-mail: info.belgium@arjo.com

BRASIL
Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
Rua Marina Ciufuli Zanfelice, 329 PB02
Galpão - Lapa
São Paulo – SP – Brasil
CEP: 05040-000
Phone: 55-11-3588-5088
E-mail: vendas.latam@arjo.com
E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA
Arjo Canada Inc.
90 Matheson Boulevard West
Suite 350
CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3
Tel/Tél: +1 (905) 238-7880
Free: +1 (800) 665-4831
Fax: +1 (905) 238-7881
E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA
Arjo Czech Republic s.r.o.
Na Strzi 1702/65
140 00 Praha
Czech Republic
Phone No: +420225092307
E-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK
Arjo A/S
Vassingerødvej 52
DK-3540 LYNGE
Tel: +45 49 13 84 86
Fax: +45 49 13 84 87
E-mail: dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND
Arjo GmbH
Peter-Sander-Strasse 10
DE-55252 MAINZ-KASTEL
Tel: +49 (0) 6134 186 0
Fax: +49 (0) 6134 186 160
E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA
ARJO IBERIA S.L.
Poligono Can Salvatella
c/ Cabanyes 1-7
08210 Barberà del Valles
Barcelona - Spain
Telefono 1: +34 900 921 850
Telefono 2: +34 931 315 999

FRANCE
Arjo SAS
2 Avenue Alcide de Gasperi
CS 70133
FR-59436 RONCQ CEDEX
Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG
Arjo Hong Kong Limited
Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,
8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,
HONG KONG
Tel: +852 2960 7600
Fax: +852 2960 1711

ITALIA
Arjo Italia S.p.A.
Via Giacomo Peroni 400-402
IT-00131 ROMA
Tel: +39 (0) 6 87426211
Fax: +39 (0) 6 87426222
E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST
Arjo Middle East FZ-LLC
Office 908, 9th Floor,
HQ Building,North Tower,
Dubai Science Park,
Al Barsha South
P.O. Box 11488, Dubai,
United Arab Emirates
Direct +971 487 48053
Fax +971 487 48072
Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND
Arjo Nederland BV
Biezenwei 21
4004 MB TIEL
Postbus 6116
4000 HC TIEL
Tel: +31 (0) 344 64 08 00
Fax: +31 (0) 344 64 08 85
E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND
Arjo Ltd
34 Vestey Drive
Mount Wellington
NZ-AUCKLAND 1060
Tel: +64 (0) 9 573 5344
Free Call: 0800 000 151
Fax: +64 (0) 9 573 5384
E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE
Arjo Norway AS
Olaf Helsets vei 5
N-0694 OSLO
Tel: +47 22 08 00 50
Faks: +47 22 08 00 51
E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH
Arjo Austria GmbH
Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
A-1230 Wien
Tel: +43 1 8 66 56
Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA
Arjo Polska Sp. z o.o.
ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)
Tel: +48 61 662 15 50
Fax: +48 61 662 15 90
E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL
Arjo em Portugal
MAQUET Portugal, Lda.
(Distribudor Exclusivo)
Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
PT-1600-233 Lisboa
Tel: +351 214 189 815
Fax: +351 214 177 413
E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ
Arjo Switzerland AG
Fabrikstrasse 8
Postfach
CH-4614 HÄGENDORF
Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI
Arjo Scandinavia AB
Riihitontuntie 7 C
02200 Espoo
Finland
Puh: +358 9 6824 1260
E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE
Arjo International HQ
Hans Michelsensgatan 10
SE-211 20 MALMÖ
Tel: +46 (0) 10 494 7760
Fax: +46 (0) 10 494 7761
E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM
Arjo UK and Ireland
Houghton Hall Park
Houghton Regis
UK-DUNSTABLE LU5 5XF
Tel: +44 (0) 1582 745 700
Fax: +44 (0) 1582 745 745
E-mail: sales.admin@arjo.com

USA
Arjo Inc.
2349 W Lake Street Suite 250
US-Addison, IL 60101
Tel: +1 (630) 307-2756
Free: +1 (800) 323-1245
Fax: +1 (630) 307 6195
E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN
Arjo Japan K.K.
東京都港区虎ノ門三丁目7 番8 号
ランディック第2 虎ノ門ビル9 階
Tel: +81 (0)3-6435-6401
Fax: +81 (0)3-6435-6402
E-mail: info.japan@arjo.com

At Arjo, we are committed to improving the everyday lives of people affected by reduced mobility and age-related health challenges. With products and solutions that ensure ergonomic patient handling, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the effective prevention of pressure ulcers and venous thromboembolism, we help professionals across care environments to continually raise the standard of safe and dignified care. Everything we do, we do with people in mind.

ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com

CE
2797